

あがないによる交わり(フェローシップ)
ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国
1955年04月03日

1 おはようございます、皆さん。今朝もこうして主のご奉仕に加わることができ、本当に嬉しく思います。

ちょっと疲れてはいますが……皆さんもおっしゃっていたように、私もインフルエンザだったのかもしれませんが。でも正直なところ、働きすぎだったと思います。5週間ずっと続けての集会で、抵抗力がすっかり落ちてしまっていたようです。それでも太るのだけは止まらないんですね。どんどん太っていくばかりです(笑)。

でも、前回の集会では、ほとんどが説教中心だったんです。もちろん癒しの礼拝もいくつかありましたが、だいたいは御言葉の奉仕でした。

今日こうして、主にお仕えできること、幕屋にいられること、そして再びネヴィル兄弟とご一緒できることを、心から感謝しています。とても素晴らしいご紹介をいただいて、もし体調が悪かったとしても、それだけで元気が出てきますよね。人に好かれてるって、やっぱり嬉しいものです。皆さんはどうですか?誰かに好かれてるって、いい気持ちですよ。私はそう思いますよ。

2 ある晩のことでした。私はこの幕屋を出ようとしていました。…今これがまだ録音されていないことを願っていますけれども(笑)。数年前のことですが、ここから出ようとしたとき、一人の婦人が後ろで私に声をかけてきました。

「まあ、ブラザー・ビル!」とその婦人は言いました。「今夜のメッセージ、本当に良かったです!」

私は「ありがとう、姉妹」と言いました。ああ、嬉しかったですよ。本当に、心が温まりました。

それからドアの方に歩いて行ったとき、ある男性がそこに立っていてこう言ったんです。

「オレなら、あんなこと我慢できないな」

私は「えっ、何のことですか?」と聞きました。

すると彼は言いました。「誰かに褒められるなんて、オレはそんなの嫌だ」

私はこう答えました。「ああ、そう?でも私は違うよ。私は褒められると嬉しいんだ。そこが君と私の違いさ。だって私は本音で言ってるからね」

その通りですよ。誰かが、あなたの努力を見て「ありがとう」や「良かったよ」と言ってくれると、本当に心が励まされるものです。そうじゃありませんか?

3 さて、本日ひとつ発表をさせていただきたいと思います。

もしネヴィル兄弟とこの会衆、そしてなにより主がよしとしてくださるならば——私はこのことを過去7年か8年ほど試みて、実際に成功したのは2回だけですが——来週の日曜日の朝に、「定期的な癒しの礼拝」を持ちたいと願っています。ただの特別集会ではなく、癒しに焦点を当てた、定期的な礼拝としてです。

過去にも何度かそうしようと試みてきました。そしてここでも、一度だけそれが実現し、大きな祝福がありました。その夜のことを新聞にも書かれたほどでした。車椅子に乗った少女が一人おりました。この建物の中にあつた唯一の車椅子だったと記憶しています。長い間その状態で、何か身体に問題があつたのです。でも実のところ、彼女は主からの召しを長い間無視していた、と告げられたんです。17年もの間、車椅子の生活だったと。

そして、ここでその車椅子を前に運んで彼女を座らせたその瞬間、彼女はすっと立ち上がり、なんと、普通の健康な女性としてそのまま建物の外へ歩いて出て行ったんです。

また、台の上には一人の男性が横たわっており、新聞には「まるで人の影のようだ」と書かれていました。しかし主がその人を癒してくださり、彼は何年も歩いていなかったのに、立ち上がって歩き出したのです。

その後も、ある夜、高校で集会を開いたとき、聖霊が降りてきて、私たちはまさに「癒しの礼拝」を行いました。あの夜は……確か、ルークス姉妹もそこにおられたと思います。もし記憶違いでなければ、あの夜が彼女の癒しの日だったと。あのような癒しの礼拝を通して、多くの素晴らしいことが起こりました。

ですから、どうか来週、そのような主の癒しのご奉仕を、再びこの場で持たせていただけるよう、共に祈り、期待しましょう。

4 これまでに2回か3回ほど、癒しの礼拝をこの場所で行おうと試みて

きましたが、あまりうまくいったとは言えません。ご存じのとおり、

ここは私のホームであり、聖書にも「自分の故郷や親しい人々の中では…」

とあるように、なかなか思うようにはいかないものなんです。

不思議ですよ。でも、そういうものなんです。

【マイクの調整音】

「ベラー兄弟、何かおかしかったでしょうか？」

〔ベラー兄弟:「いいえ、大丈夫ですよ」〕

「ああ、そうですか。ありがとう」

〔「マイクをちょっと下げました」〕

「ああ、ありがとう。助かります」

さて、こういった礼拝を行うにあたって——もし主が導いてくださるなら

——どれだけの方が、ここ幕屋での本物の癒しの礼拝

を望んでおられるのでしょうか?……ああ、たくさんいらっしゃいますね。

では、

そのために祈ってくださいますか?

今朝は、レオとジーン(※録音係)に祈りのカードを渡そう

と思っていたんですが、どこかにいるはずなんですけど……。

最初は、私に来て、祈りのカードを配って、祈りの列を作ろうかなとも

考えていました。でも、今朝はあまりにも疲れてしまって……それで、

今日はただ少しだけお話をさせていただいて、

それから徐々に始めようかと思ったんです。

5 来週の日曜日の朝ですが……日の出礼拝がありますか?

〔ネヴィル兄弟:「はい、あります」〕

そうですか。たしか朝5時から6時くらいまでですよ?

そうですね、日の出は6時ごろでしょう?

〔「6時です」〕

なら、5時から6時までが礼拝の時間になりますね。1時間の賛美と礼拝の時間です。

そんなに早く起きるのは、たいしたことじゃないですよ。

カトリックの方々は毎週日曜の朝、そうして教会へ行くんですから。

私たちプロテスタントも、
年に一度くらいはそうしてもいいと思いませんか？
日の出の礼拝です。ですから、形式張った説教ではなく、少しだけ語って、
あとは礼拝に集中したいと思っています。それから皆さんはおうちに戻って
朝ごはんを召し上がってください。私は食べずに、
教会に残っておこうかなと思います。

そしてもし主がよしとしてくだされば……

ネヴィル兄弟が土曜日の番組で正式にご案内してさせていただきます。

「WLRP」、ニューオールバニーの放送局で、朝9時から9時半の間ですね？

[ネヴィル兄弟:「アーメン」]

そうですね。

それから、地元の新聞、ジェファーソンビルやニューオールバニーの
紙面にも、ちょっとした告知を出すつもりです。

多くの方々がその地域から来ておられますから。

金曜か土曜の紙面に載る予定です。

それで、当日の朝には、レオとジーンたちに来てもらって、
9時ちょうどに祈りのカードを配ります。

9時半までには会場の雰囲気も落ち着くでしょう。

そして私が部屋から出てきて、日の出礼拝の正式なメッセージを語り、
それから癒しの祈りの列に入っていきたいと思っています。

それから、この週のうちに決めることになりましたが、
水のバプテスマを希望される方もおられます。

イースターはバプテスマには本当に素晴らしい時です。

ですから、癒しの礼拝の直後か、あるいはその夜に、
バプテスマ式を行いたいと思っています。

来週の日曜日は、まる一日主に捧げる日になりますので、
どうぞ心を備えて、祈りつつ待っていてください。

- 6 そして、主に心から感謝しております。
さて、集会について少しご報告させていただきます。兄弟がさきほど
「皆さんが祈ってくださっていた」と話しているのを聞きました。
私は本当に、それに頼っているんです。ああ、
物事が本当にうまくいかないと感じるとき、私はこう思うんです——
「どこかで、きっと誰かが祈ってくれている」。そう思うと、励まされて、

もう一歩前に進む力が湧いてくるんです。

そしてこのたび、北アメリカ大陸で私がこれまでに持った中で「最も素晴らしい癒しの礼拝」が行われました。それはまさに今回の最後の奉仕でした。ジーン兄弟とレオ兄弟もその場におり、ここに座っている彼らが証人です。その集会はアパッチ族のインディアン保留地で行われたのです。

その前に一日だけ休みをもらったので、その時間を使ってインディアンの保留地に向かいました。すると、そこでこれまでで一番と言っていい集会が開かれたのです——いや、「最大の」ではなく「最良の」集会でした。

その中で、特に私の心に深く残った出来事が一つあります。祈りの列の中でのことでした。ジーンとレオが外に出ていて、私や自分たちのカメラを使ってできる限り写真を撮っていました。おそらく、その場では三十五回以上の幻が与えられたと思います。人々に語りかけるのですが、彼らは私たちのようには反応してくれません。なぜなら、言葉が通じないのです。彼らには書き言葉もなく、通訳するにも限界があるのです。アパッチ族の言語には、私たちが使うような「文章」が存在せず、単語の集まりのような話し方なんです。だから、彼らに何かを理解してもらうのは本当に難しいんです。英語がわからない人も多いですから。それでも、主はそのような中においても、確かにご自身を現してくださったのです。

- 7 最初の幻で覚えているのは、一人の女性が赤ちゃんを抱いて祈りの列にやってきたときのことでした。その赤ちゃんは盲目でした。そして、主はその原因を教えてくださいました——それは「緑内障」でした。これはインディアンの間では非常に一般的な病気です。そうしてその女性が列に入ったとき、なんとその赤ちゃんは癒されたのです。それから続けてやってきたのが、おそらく4人か5人の、耳も聞こえず口もきけない人たち——聾啞の方々でした。そして主はその一人ひとりを、すべて癒して教えてくださいました。彼らは本当に、純粹で素直なんです。何かを難しく考えようとしません。

ただ、あなたの言葉を信じるのです。そして、そのときこそ正しく
主のことを教えなければなりません。

自分自身について語ってはいけません——それではだめです。
必ず主について、主の御業として語る必要があるのです。

そして彼らがそれを本当に理解したとき……

それはまるで子どもたちのようです。「こうなさい」と言えば、
素直にその通りにするのです。

- 8 そして、道沿いには、とても美しい小さなインディアンの
“プリンセス”がいたんです。背丈はこのくらい、小さな黒い瞳で、
本当に可愛くて輝いていました——でも、まるで真夜中のように
完全に盲目でした。

インディアンの宣教師であるマーシャル兄弟が、
彼女を祈りの列に連れて来ながら私に言いました。

「ブラナム兄弟、この子は目が見えないんです」

私は言いました。

「この大きくて美しい暗い瞳が？本当に？」

すると彼はこう答えました。

「はい、兄弟。完全に見えていません」

私はその子の目の前で手をひらひらと振ってみました。

でも目はただじっとしているだけ、まったく反応しません。

見えていないのです。

私はその子のために祈りました。そしてもう一度手を動かして
みましたが、彼女の目は同じようにじっとしたまま。

「なんてことだ……」と私は思いました。こんなに小さな子が、
盲目で……。そして私は知らなかったんですが、

なんとそのすぐそばにいた彼女のお父さんも盲目だったんです。

そしてそのとき、私はこれまでに経験したことのない何か
を感じました。それは、ネヴィル兄弟、

いわゆる“幻”とはちよつと違いました。

でも、こう見えたんです——自分がその子連れて、
天にある神の御座の前に進んでいく。

そして、こう祈っていました。

「父よ、この小さな娘は目が見えません。

どうか、主イエスの血潮によって癒してくださいますように」

それから彼女を座らせたとき、私は指をこのように上げながら言いました。

「マーシャル兄弟、何かが起きました」

そしてこうも言いました。

「私は今、自分がこの子の手を引いて空を上っていくのを見ていたよう

に思いました」

そして私はそのまま手を動かしながら話していました。すると、

彼女の大きな目がその手の動きに合わせて動き始めたのです。

見ていたんです。完璧に、正常な視力で。

その後、彼女は医師たちに回されて、調べられました。

よく身なりの整った何人かの男性たちが彼女を診ていました。

指を目の前で動かして、それに目がついていくかどうか

を確かめていたんです。私は言いました。

「どうぞ診てみてください。もう大丈夫です」

そして、彼女はまったく普通に、健康な状態になっていたんです。

その次に来たのが、彼女のお父さんでした。彼もまた盲目でした。

ですが主は彼にも、完全に視力を回復させてくださいました。

その場で、そこに立ったまま。ああ、私たちの主イエス様がなさることは、

なんと素晴らしいことでしょう！

でも、これらのことは人間の手にあるものではありません。

すべては神のご計画の中にあるのです。

そういえば、コックス兄弟、ジョセフ兄弟は

『ヘラルド・オブ・フェイス(信仰のしるし)』誌

をもう送ってくれましたか？

[コックス兄弟:「いいえ、まだです」]

そうですか、もうすぐ届くでしょう。

その号の表紙には、メイヨー病院で見放された女性の話が載っています。

主が彼女のことを、どこにいて何が起こっていたかを言い当てて

くださったんです。メイヨーでは「もう長くは生きられない」

と言われていた女性です。でも彼女はストレッチャーに

乗せられて来たそのまま、癒されて立ち上がり、

今では元気に家に帰って、すっかり健康な状態になっています。

9 そして、次のページにはとても印象的な小さな記事があります。

タイトルは「生まれつきの盲目」です。——少しだけ、
この一節を読んでもよろしいでしょうか？ほんの短い文章ですから。
「私の息子は、生まれながらにして盲目でした。私も彼も、
体内の毒素が100%でした。私たちの主治医によると、
彼の知る限り、これと同じような症例は他に一つもなかったそうです……」

〔録音の空白部分〕

「……盲目でした。彼は“ドライ・アイ”と呼ばれる状態で、
一度も涙を流したことがありませんでした。ブラナム師が
彼のために祈ってくださったその時まで、
一度も泣いたことがなかったのです。そしてブラナム兄弟が彼を抱き、
祈ってくださったとき、涙がその兄弟の腕を流れ落ちたのです。
そしてその瞬間から、彼の目は見えるようになったのです。
それから私たちは、彼の小さな頭を動かし、
人々のほうを向かせました。彼は何が起こっているのか
分かっていない様子でした。生まれてから一度も何も見たこと
がなかったのです。私は彼を教会から母親のもとへ連れて行き、
ベッドに寝かせました。すると彼は部屋の中を見回して、
ラトル(ガラガラ)で遊び始めたのです。
翌週、私は彼をミネソタ州ロチェスターのメイヨー病院に
連れて行く予約が入っていました。その通りに連れて行ったところ、
医師たちは彼の目に何の異常も見つけられませんでした。
『この子の目は完全に正常で、とても良い目です』と告げられました。
私はこのことを担当医に知らせようと、ジョニーを医師のオフィス
へ連れて行きました。というのも、その医師は彼を盲学校に入れる
手配をしようとしていたところだったからです」
主イエスが、この小さな男の子をどれほど素晴らしいかたち
で癒してくださったか——皆さんも分かりますよね。
母親も赤ちゃんも体内に強い毒素を持っており、
こういうケースでは通常、どちらか一方、
あるいは両方が命を落とすこともあるのです。
でも小さなジョニーは生まれてきました——けれどその目は、
乾いていて、硬くて、涙一つ出なかったんです。
私とその小さな子を腕に抱いたとき——突然、

何か温かいものを感じました。彼の頬から涙が流れ出し、私の腕をつたっていったのです。そして彼は、キラキラした小さな目で、私を見つめていたんです。それ以来、彼は完璧な視力を持っています。メイヨーの医師たちも、「目は完全に正常」だと診断しました。なんと素晴らしいことでしょう！ 私たちは主イエスを、心から愛しています。

10 今週一週間、どうか皆さん、主が私たちを助けてくださるよう祈ってください。そして来週の日曜日の朝——主が望まれるなら——午前5時から6時に「日の出礼拝(サンライズ・サービス)」を行います。ぜひお出かけください。そしてちょうどその時間だけご一緒しましょう。

太陽が昇るその時に、私たちは感謝を捧げるのです。およそ2000年前、まさに日の出の時に、イエス・キリストが甦られた——その御業を心からたたえて。

そして私たちは今、もう一つの「Son(御子)の昇り」を待ち望んでいます。つまり、主イエス・キリストの再臨——栄光のうちに来られるその日を。

それから、同じ日曜日の朝9時には、祈りのカードを兄弟たちが配ります。9時半からは日曜学校が始まります。ですから、もしご家族やご友人に祈りを受けさせたい方がおられたら、早めに連れて来て、カードを受け取ってください。

私は、主がよしとされるなら、金曜・土曜・日曜と、断食しながら祈って過ごしたいと思っています。そして願わくば、来週の日曜にもう一度、この幕屋で癒しの礼拝を持たせていただきたいのです。

もちろん、もし主がそれをお許しにならなければ、それは私たちの手には負えません。でも祈って、願い求めてみましょう。癒しの御業が再び現れるように。

また、そのあとにはバプテスマの礼拝も予定しています。まだバプテスマを受けたことのない方、ぜひ来てください。主イエスを信じ、罪を告白し、次の日曜日にバプテスマを受けましょう。

そして、ネヴィル兄弟がこのすべてのプログラムを、来週土曜日の朝、彼の放送で正式に発表してください。どれくらいの方がその放送を聞いていますか？——素晴らしいですよ？本当に、あの賛美は素晴らしいです。先日はテンプル兄弟が出演されていて、その時に私たちに捧げられた歌を聴きました。あれは本当に感謝でした。私たち皆で聴いていましたよ。

11 今朝は、正直なところ来られるとは思っていませんでした。というのも、昨晚、私たちの小さな娘——サラが、ひどい熱を出してしまっていたんです。本当にすごい熱で、一晩中泣き叫んで、眠ることもできませんでした。

でも私は、どうしても教会に来たかったんです。朝になって、寝巻の上にローブを羽織って、彼女の寝ているベッドのそばに行きました。かわいそうに、その小さな体が熱で燃えるように熱くなっていて……私はそつと手を彼女に置き、こう祈ったんです。

「愛する神様、どうか私を教会へ行かせてください。そしてこの子も一緒に連れて行きます。この熱よ、もう彼女を離しなさい。彼女から出ていきなさい！」

——そしてご覧ください。今、彼女はあそこに座っていますよ。すっかり元気で、静かに落ち着いているでしょう？

ああ、なんと素晴らしいお方でしょう、私たちの主は！そう思いませんか？

12 今朝は、とても大切な友人がこの場に来てくれています。彼は少し恥ずかしがり屋で、控えめな性格なんです——私の兄弟の一人であり、働き仲間であり、アラスカ・ハイウェイで出会った親しいバディでもあります。

私は数日後にまた行く予定になっている、グランドプレーリーで集会をしていたんですが、その前にブリティッシュ・コロンビア州のドーソン・クリークにも立ち寄っておりました。そしてグランドプレーリーでの集会に、ある小柄な男性がふらりと入って来たんです。そこで神様が彼の心に触れられたのです——彼はもう戻らずにはいられなくなりました。そして聖霊のバプテスマを受けたんです。

もしよろしければ……ほんの少しだけでも立ち上がってくださいますか、ファンドラー兄弟？ 皆さんにご紹介したいのです。彼はスイス出身の方です。——主があなたを祝福してくださいますように、ファンドラー兄弟。今日こうして共に礼拝できて、本当に嬉しいです。

このファンドラー兄弟は、まもなく世に出る予定の、世界的な注目を集める「関節炎の治療薬」を開発した人物です。これはまさに主が彼に与えてくださったものであり、現在、政府の機関に提出され、承認待ちの段階にあります。

これは、これまで市販されていたどんな薬でも歯が立たなかった“関節炎”に対する、初めての有効な治療法なのです。そしてそれは、人ではなく、主ご自身がファンドラー兄弟に語られ、導かれたものでした。(アーメン)

ですから、私たちは彼のために、そしてこの恵みの業のために、心から感謝しているのです。

13 先日、私たちはロサンゼルスでの「クリスチャン・ビジネスマンの会」に参加していましたが、そこでも主は実に驚くべき方法でクリスチャンたちの間に働いておられました。

皆さんもよくご存じの、小柄な兄弟——この幕屋でもおなじみのシャカリアン兄弟。なんと素晴らしい兄弟でしょう。彼を通して、主が素晴らしい発明をなさいました。

それは、小さな装置で、お腹に当てて前に向かってこう持ち出すだけで、地中の石油を探知できるというものなんです。そして彼はコロラドで、なんと2,500万ドル規模の大油田(ガッシャー)を発見しました。

ですが彼は、そのすべてを外国伝道のために主に献げたのです——アーメン！

ファンドラー兄弟も同じようにしています。彼の発明も、年間で数百万ドルの利益をもたらすことでしょう。

そのうえ、他にもいます。たとえばある兄弟は、これまで保存期間が限られていた「血液」を長期保存できる新しい技術を発明しました。しかもそれは、脱水処理によって血液を無期限に保存できるという画期的なものです。

こうした兄弟たちはみな、聖霊を受けた「ホーリーゴースト・メン」なのです。

ご存じでしょうか？ 今、アメリカのホワイトハウスにいる人たちのうち、なんと40%がペンテコステ(聖霊派)か、その背景を持つ人々なのです！(アーメン)

ああ、国々は崩れ始め、イスラエルは目を覚ましつつあります。

主はこれらの兄弟たちを通して、今まさに御国の働きを世界中に広げておられます。そしてその目的は、ただ「トラクト(冊子)」を配ることはありません——もちろんそれも素晴らしいことですが——本当の目的は、「神の解放のメッセージ」を、暗闇の中に座している捕らわれ人たちへ届けることなのです。

私たちは主を愛しています。アーメン！

では、ここで聖書を読みましょう。さっと開きましょうね。

それから、来週の日曜日をもう一度ご案内しておきます——主が望まれるなら：

今夜は聖餐式です。ネヴィル兄弟がそう言うておられました。そして水曜日は週の中の祈りの集会です。どなたでも歓迎です。

来週の日曜日は、朝5時から6時までがサンライズ礼拝。その後、9時から礼拝の準備が始まり、9時半には通常の主日礼拝がスタートします。そしてその後、癒しの礼拝、そして洗礼式へと続きます。

では、「この祝福された古き御言葉(the blessed old Book)」を開きましょう。

14 聖書の朗読に入る前に——少しだけ賛美をささげましょう。

ゲルティ姉妹はどこにいらっしゃいますか？ さっきここにおられましたね。もう一度、ちょっとだけ前に出てきてくださいますか？

今朝のレッスンも、できるだけ短く、30分ほどにおさめようと思っています。ですから、その前にこの素晴らしい古い賛美歌と一緒に歌いましょう——“My Faith Looks Up To Thee(我が信仰、汝を仰ぐ)”。

どれくらいの方がこの歌をご存じですか？ 讃美歌集に載ってますか？それとも覚えていますか？……(会衆うなずく)

[会衆の誰かが、自身の癒しの証を語り始める]

[録音の空白部分]

15 …私たちの最も深いところに、今日も語ってくださる主よ。

この地上の古い幕屋——いま私たちが住んでいるこの肉体——それはまるで鳥かごのようであり、粘土の塊のようです。でもいつの日か、鳥かごから飛び立つように、私たちの魂もこの肉体を離れ、愛するお方の腕の中へ飛び込む日が来ると信じています。

主よ、あなたが来られるそのとき、私たちはこの肉の衣を脱ぎ捨て、あなたのもとに上げられるのです。

だからこそ、今日も「我が信仰、汝を仰ぐ」——今、私たちの信仰はあなたを見上げています。

どうか私たちのすべての罪と過ちをお赦しください。いま、この場にあなたご自身が臨在してくださいませように。私たちの心に来て、祝福してください。そして、あなたの御言葉——神の言葉を、今日、私たち一人ひとりが必要としているかたちで、届けてください。

私たちはすべての栄光をあなたにお返しします。

私たちは、御名によってこれをお祈りします——アーメン。

16 では急いで開きましょう——ヘブル人への手紙9章、11節からです。

今朝、主が許してくだされば「贖いによる交わり

(Fellowship by Redemption)」という主題で語らせていただきます。

ヘブル9章、聖書をお持ちの方はどうぞ一緒に開いてください。

少しの間だけですが、一緒に御言葉を学びましょう。

私は御言葉が大好きです。なぜなら、

「信仰は聞くことから始まり、聞くことは神の言葉によるからです」

とありますから。

ヘブル人への手紙 9:11-12

しかし、キリストは、すでに来た良き事の大祭司として現れ、

人の手によらず、この世のものに属さない、もっと大いなる、

完全な幕屋を通して、

また、やぎや子牛の血によらず、ご自身の血によって、

ただ一度だけ聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられたのです。

そして、ヨブ記19章23節～27節でも、「贖い」について、

こう語られています。パウロがヘブル書で語ったように、

「ひとたびの捧げ物で、永遠に完全なものとされた」

その贖いを、ヨブははるか昔から預言していました。

ヨブ記 19:23-27

ああ、私の言葉が書き記されていたなら!

ああ、書物に記録されていたなら!

鉄の筆と鉛で岩に、永遠に刻まれていたなら!

私は知っている。私を贖う方は生きておられ、

最後の日に、この地の上に立たれることを!

この皮膚がこの身から滅ぼされても、

私はこの肉にあって神を見るであろう。

私自身が、神を見るのだ。私の目が、これを見る。

他の者ではない。私の胸の奥は、この思いで消え入るばかりだ。

なんという告白でしょうか!

パウロは贖い主が誰であることを明確にし、ヨブははるか昔に、

すでにその贖い主が「生きておられる」と証しました。

このように、旧約も新約も、すべてが「生きておられる贖い主」——

すなわちイエス・キリストに向かって語られているのです。

今朝、私たちもその贖いによって与えられた交わり、

すなわち神との親しい関係を、心から味わいたいと思います。

17 主がこの御言葉に祝福を添えてくださいますように。

今朝は「贖いと交わり」について語ってまいります。

私たちはこの地上に生きる**死すべき存在 (mortal beings)**として、あちこちに振り回され、迷いながら生きていることを、しばしば目の当たりにします。

そして今この時代——私はこう思うのです。キリストの御霊を心に持つ者であれば、誰ひとりとしてこの世の姿を見て心を痛めずにはいられないはずです。

私はよく思います——どうして今日の人々は、こんなにも「人生」を軽く受け止めているのだろうか?と。

でも、これは決して軽いことではありません。

なぜなら私たちがこの地上に生かされている理由そのもの——それは、「神を礼拝し、神のもとへ来て、神との交わりに入るため」なのですから。

けれど、現実には多くの人々が、まるで神など存在しないかのように、ふらふらとさまよい歩いています。まるで何の目的もなく、何の希望も持たずに。

でもその状態というのは、実は人間自身が自分で選び取ったものなのです。神が人をそこに押し出したのではありません。人が神から離れてしまったのです。

——だからこそ、私たちは贖いによって、再び神との交わりに立ち返る必要があるのです。

18 私は信じています。今私たちが生きているこの時代——どんな牧師であれ、

語るべき最も大切なことは、人々を福音の基本原則に立ち返らせることだと。原点に戻ること。

なぜなら、正しい土台の上に建てられていないならば、どんなに立派に見えても無意味だからです。

たとえば——すでに政府から取り壊し命令の出ている古い建物に、いくらペンキを塗って、壁紙を貼りかえても、それには何の意味もないでしょう？

でも、今日の多くの人たちが、それと同じようなことをしているのです。つまり、「改心」と称して、古い性質の上にちよつとだけ新しい行動を足そうとする。

「じゃあ教会に通おう」とか、「もうちよつとだけ良い人間になろう」

とか、「前とは少し違うことをしてみよう」とか——

それでどうにかなると思っている。でも、そんなことではどこにも到達しないのです。

それは、はっきり言えば、時間の無駄なんです。

「嘘をやめて、盗みもやめて……」それはもちろん素晴らしいことです。

でも、それだけでは救いには届かない。道からは、まだ何百万マイルも外れているのです。

土台に戻らなければなりません。

古い建物を修理するのではなく、全く新しいものとして建て直さなければならない。それが本当の悔い改めです。

だからこそ、今日、私たちは多くの不安定な信仰や、名ばかりのキリスト教を目にするのです——

土台から建て直していないから。

多くの人が「キリストを信じている」と口にしますが、

その生活には力も光も見えない——

それは、最初から間違った基礎の上に立っているからなのです。

19 これは少し耳に痛い話かもしれませんが……

あなたは、ある人にとって唯一読むことになる「聖書」なのです。

そうです、あなたがたクリスチャンの生き方こそが——

多くの人々にとっては**唯一目にする「御言葉」**なのです。

彼らはあなたの行動や態度、言葉遣い、反応を見て、

「これがキリストなのか？」と判断しているのです。

ですから、クリスチャンは「生ける模範」、
生きたキリストの姿であるべきです。
もしキリストがあなたの心の中に生きておられるならば、
主ご自身があなたの内でご自身の生涯を生きてくださるはずです。
キリストの霊があなたの中におられるなら——
あなたは新しく創られた者になります。
私は時々こう考えます。
もし、この地上のすべての人が、本当に
「主イエス・キリストの御名を呼ぶ者」として正しく生きるなら、
この世界は——
24時間以内に完全に回心されてしまうだろう!と。
それほどの力が、「本物のキリスト者の生き方」にはあるのです。
聖書はこう言っています——
「あなたがたは地の塩である。」
でも、塩には条件があります。
腐っていく地に触れて初めて、その塩の力が発揮されるのです。
この地は今、朽ちていつている。
腐敗が進んでいるのです——皆さんも感じておられるでしょう。
だからこそ、この塩——つまりあなた——が、世に触れて、
関わっていかなければならないのです。
触れなければ、塩はただの白い粉にすぎません。
そしてそのうち、力を失ってしまいます。

20 数週間前、シカゴでのことですが——

私はとても感動しました。なぜなら、神の御言葉が真実であることが、はっきりと証された瞬間を目にしたからです。

人も女も、御言葉に立ち返らなければなりません。

私はカリフォルニアでもほとんどの時間を、そのことに注いできました。

なぜなら、あまりにも多くの異端(カルト)が起こり、いい加減な教えが広がり、神から出ていないものがあふれているのを見たからです。

私は今日、誰かを批判するためにここに立っているわけではありません。

ただ、福音を語りたいのです。

ですが——

甘い言葉や、お世辞の上に成り立つ働きや、個人のカリスマ性の上に築かれたミニストリーがあまりにも多く見られます。

そんなものの上に立っていたら、それは沈みかけた砂の上に座っているようなものです。

ミニストリーというものは、完全に、全的に、「主イエス・キリスト」と「御言葉(聖書)」の上に建てられていなければならないのです。

たとえ、どんなに新しく、どんなに人目を引くムーブメントが現れたとしても——

それが御言葉の上になければ、信頼するに値しません。

主ご自身と、その真実な御言葉だけが、揺るがない岩の土台です。

21 数日前のことです。私の働きの仲間であるムーア兄弟の息子さんが、「理学博士号」を授与されました。その授与式のために、ワシントンD.C.からある著名な科学者がやって来て、彼を抱きしめながらこう言ったそうです。

「息子よ、ワシントンでは、最新の科学に関する124の科学的に証明された事実があるんだ。

もし君をそこに連れて行ったら、その本を全部読むのに毎日読んでも2年かかるだろう。

しかも、それら124冊の本を全部読み終えたその時点で、君はそれをすべて忘れなくちゃいけない。

なぜなら、それらをすでに上回る新しい発見が出てきているからなんだ」

——その言葉を聞いたとき、私は心の中でこう叫びました。

「けれども——主に感謝せよ!

私は一つの書を知っている。

それは何千年も変わらずに残っている書物だ!」

それは、聖書です。

決して変わらない書。決して何も付け加えられない、永遠の書です。

他の本たちは、ぐるぐると回って自分の位置さえ見失い、最新を追いかけるたびに過去を捨てなければならない。

けれども本当に「真実」を知りたいければ、最終的に人々はこの聖書に戻ってこなければならないのです。

これは神の書。唯一の書です。

ですから、私たちはこの偉大で驚くべき聖書を、心から主に感謝するのです。

この聖書には、神の御心、神の約束、神の真理が詰まっています。

他の本はすべて朽ち、消え、知識は古びていきます。

しかし、この聖書だけは永遠に変わらぬ神の真理を含んでいます。

だからこそ——この御言葉が語ることに、私たちは心から「アーメン!」と応えることができるのです。

22 少し前のこと——

私がまだ小さな少年だったころ、学校でこう教わりました。

「星は、太陽の光が当たって輝いているんだよ」と。

でも、それは今では否定されています。

先日、ロサンゼルスの上——世界最大級のパロマー天文台

(マウント・パロマー)に行ってきました。

そこにあるプラネタリウムで、ガイドの方に案内してもらっていたとき、
こう言われました。

「昔はね、太陽の光が星に反射していると思われていたんです。

でも今では分かってきたんですよ——すべての星は、

自分自身で光を発しているんです」

つまり、あの教えは間違っていたんです。

太陽の光が何百万光年も彼方の星まで届くなんて、できっこない。

また、こうも教わっていました——

「地球は太陽のまわりを回っていて、太陽はまったく動かない」と。

あなた方の中でも、私と同世代の方々はきっと

そう教えられたことでしょう。

でも、それも今では変わりました。

太陽も動いているというのです。

——つまり、彼らは分かっていないのです。それが真実なのです。

けれど、ここにあります——

唯一、確かに「知っている」書物が。

人間が何千年もの間、論争し、試し、そして修正してきたような事柄が——

すでにこの聖書には書かれているのです。

聖書の中で、ヨシユアが太陽に向かって「止まれ」と命じたとき、

太陽は止まりました。

(ヨシユア記10章)

当時から、聖書はそう言っていたのです。そして、それは真実でした。

結局すべては——

聖書に戻ってくるのです。

あらゆる真理、すべての事実は、最終的に御言葉に一致していくのです。

23 少し前のことです。

科学者たちは聖書を嘲笑していたんです。

聖書にはこう書かれています——

「あなたの全身は光に満ちている」と。

それを聞いた科学者たちは言いました。

「身体が光で満ちている？ そんなバカな。

人間の体の中に光なんてあるはずがない」と。

でも——それは間違っていたんです。

やがて、X線(レントゲン)が発明されました。

そして科学者たちは気づいたんです。

X線写真を撮るとき、他の光源を使っているわけではない。

撮影されるその人自身の“体の光”が、像を作っているんです。

X線自体には“光”はない。

あなたの体の中にある光が、写真を写し出しているんです。

だから結局——

神が正しかったのです！

人間がいくら笑っても、否定しても、

御言葉は真実です。

24 ご存じのように、こんなこともありました。

科学者たちはこう言っていたんです——

「神は間違っている。『人は心で思う』なんて書かれているけど、心臓には思考する機能なんてない。考えるのは脳(mind)だ」と。

でも——

つい2か月ほど前のことです。

研究者たちが人間の心臓をさらに詳しく調べていたとき、

ある非常に小さな空間(compartment)を発見したんです。

そこには血液細胞もなく、

他のどんな動物の心臓にも存在しない——

鳥にも、獣にも、どんな生き物にもない、

人間だけが持っている小さな空間です。

その場所は、科学的にこう呼ばれました：

「魂の座(The occupation of the soul)」

つまり——

神の言葉が正しかったのです。

「人は心で思う」(箴言23:7)——

これは比喩ではなかった。

真実だったのです。

だから、たとえこの世が何を言おうと、

神の御言葉はいつでも正しいのです。

25 人は、**知的な信仰(intellectual faith)**を持つことができます。

そして、今日「自分はクリスチャンだ」と言っている多くの人たちは、

まさにこの知的信仰にとどまっているのです。

だからこそ、「クリスチャン」と名乗りながらも、

実際には主の力が見えないような行動が、あちこちで見られるのです。

それは、本物の信仰ではなく、単なる“知識としての信仰”だからです。

「兄弟、それってどういう意味ですか?」と聞かれるかもしれません。

こういうことです——

聖書には「人は信じて義とされる」、「信仰は聞くことによる、

聞くことは神の言葉による」とありますね。

ですから、私は御言葉を語ることができます。

そして、あなたはそれを聞いて、

「そうだね、うん、私はそれを信じるよ」と言うかもしれません。

——でも、それだけで終わってしまうならば、神との関係はそこから

先に進まないのです。

それが**知的信仰 (intellectual faith)**です。

これが、多くの人々が癒されない理由でもあるのです。

彼らは、ただ頭で「癒される」と理解しているだけで、

霊においてそれをつかんでいない。

心ではなく、頭(mind)で信じようとしているのです。

でも、頭は“理屈”で動くのです。

頭はこう言います:

「そんなこと、ありえない。

今日は昨日と何も変わらない。

目で見ても、腕はまっすぐになっていない。

感覚でも、昨日と同じように痛む」——と。

こうして理屈(reasoning/推論)や神学的な理論が働いて、

「待ってくれ、それってちょっと馬鹿げてるんじゃないか?」

と思ってしまうんです。

それが知的信仰の限界なのです。

頭だけで信じようとする信仰は、やがて疑いに飲まれてしまいます。

26 しかし——

いったん信仰が、この下の“区画”(compartment)、

つまり心の奥、魂の座にまで届くと、

それはもう上(=頭)で何が起ころうと、

決して疑問を持たなくなるのです。

完全な確信(absolute fact)となり、神のすべての御言葉と一致するのです。

これこそが、多くの人が本来あるべきところにたどり着けない理由なのです。

彼らの神理解は**知的な把握(mental conception)**にとどまっている——つまり、「頭では信じている」つもりなんです。

でもそれだけでは足りません。

必要なのは、**新生の体験(born-again experience)**なのです。

つまり、信仰が魂の深みまで降りていく、本当の“心”で信じるようになること。

そのとき、

たとえ目に見える状況がどうであれ——

たとえ何一つ変わっていないように見えても——

信仰はこう言うのです：

「それでも、それは真実だ。主がそう言われたから。」

それが、本物の信仰です。

27 人間はもともと——たとえ今のように墮落した状態であっても——

神に仕えるために造られたのです。

それこそが、人の地上での**本来の役割(full duty)**です。

最も賢い王、ソロモンが伝道者の書でこう語っています：

「結局のところ、すべてのことに結論を言おう。神を恐れ、その命令を守れ。これが人のすべてである」

まさに、それこそが私たちの本分なのです。

私たちは疑問に思います。

「なぜ人間は苦勞し、衣を着て、働き、悩まなければならないのか？

動物たちはそんなことしていないのに」と。

神は小さな鳥にも食べ物を与え、すべての被造物を養っておられます。

けれど私たち人間だけが、自分で生きようともがいている。

その理由は——

罪が私たちを創造主から引き離してしまったからです。

これがすべての原因です。

動物たちは自分を改善しようとはしません。

改善できる力が、彼らの中にはないからです。

動物は、より良い住まいを建てることもなければ、
生肉を焼いて食べるように進歩することもあります。

なぜなら——

彼らの中には「魂」がないからです。

でも、人間には魂がある。

そしてその魂は、神からの一部です。

たとえ墮落した状態であっても——

人間はこの地上のすべての被造物の中で最も尊い存在なのです。

その人が、自らの創造主と再びつながったなら——

彼はほとんど「超人(superman)」のようになるのです。

なぜなら、彼は「神の子」だからです。

彼は自分を造られた方を知るようになり、

その方と交わりに戻るとき、

神の御言葉のすべてが「生きた現実」として彼のうちに

働くようになるのです。

彼は信じることができる者になるのです。

だから、今日多くの人が「神の癒し」を信じられないのは当然なんです。

「信じるもの」を持っていないからです。

神がその心に来られない限り、人はただの理性に頼る存在にすぎません。

人は理屈で考えます：

「こんなこと、どうやって起こるっていうんだ？」

「それは説明がつかない、非科学的だ」と。

こうして御言葉を理論で消し去ってしまうのです。

でも——

いったん神が人の心の中にご自身の座を取られるなら、

すべての理屈はかき消され、

神がすべての中心となるのです。

アーメン。

28 初めの時、神が人を創造されたとき——

その目的は、神を礼拝し、神との交わりの中で生きることでした。

神ご自身が人を養い、世話をし、守っておられたのです。

そしてその人間は、完全な神との交わりの中にいたのです。

そこには何の問題もありませんでした。
夕暮れ時になると、神がご自身で降りて来られ、
アダムとエバと語り合われた——
なんと美しい光景でしょうか。
そこには害を及ぼすものは何一つ存在しませんでした。
病気という概念すらありませんでした。
老いという考えもありませんでした。
傷つくということも、知りませんでした。
彼らは傷つけられることのない存在だったのです。
なぜなら、彼らは全能の神の臨在の中に生きていたから。
神の御霊によって守られ、導かれ、その支配のもとにあったからです。
そしてもし——
今朝この小さな信者の群れが、
ほんの一度でも、すべての思いを横に置いて、
ただ一つの事実に関心を集中させることができたなら——
それは、
「あなたを初めに創造された大いなる神エホバが、
今この幕屋におられ、
ここにいるすべての信者の心の中に住んでおられる」
この事実を、心から信じることができたなら——
あなたの人生は一瞬で変わるでしょう。
初めの時、神が夕暮れ時にアダムとエバと語られたように、
その大きな御声がやさしく囁きかけられました。
そこには愛と交わりがありました。
風にそよぐ御霊の流れの中を、
ライオンも、トラも、その他すべての動物たちも静かに歩き、
共に主を礼拝していたのです。
人は、常にその聖なる臨在を感じていた——
決して神から離れていなかったのです。

29 さあ、よく聞いてください。

今からお話しすることは、とても大切なことです。
少し違った話の仕方をします——今朝は、
私自身の心にある神学的な考えや、御言葉に対する個人的な理解を

少し解き放ってお話ししようと思っています。

これは、これまでこの教会でも、他のどの教会でも語ったことのないことです。

でも、今朝ここで語ることが誰かの助けになるかもしれないと、強く感じているのです。

すべての人は、自分の心の中に、

誰にも語ったことのない「神との秘密」や「大切にしている思い」を持っています。

それは非常に神聖で個人的な領域であり、

自分と神とだけが知っているものです。

あなたもきっと、信仰者としてそれを経験していることでしょう。

ただあなたと、あなたの造り主との間にあるもの。

他の誰にも説明できない、

誰にも触れてほしくない、

けれど確かにそこにある、深い霊的な交わり。

今朝、私はその中から、

主が私に示してくださってきたことの一部を――

恐れずに語ってみようと思っています。

どうか、心を開いて聞いていてください。

30 私はこれまで一度も、天国がレンガやモルタルで建てられた

家々が並ぶ場所だなんて、信じたことはありません。

紙で覆われて、壁にペンキを塗ったような建物が並んでいる――

そんな天上世界を、超自然の存在が必要とするとは思えないのです。

ヨハネ14章でイエス様がこう言われました：

「わたしの父の家には、住まいがたくさんある。

そうでなければ、あなたがたにそう言ったであろう。わたしは、

あなたがたのために場所を用意しに行くのだ」

この「住まい」という言葉――私はそれを「霊的な身体」、

つまり「住まうべき存在」として理解しています。

なぜなら、聖書はこうも言っているからです：

「もしこの地上の幕屋(身体)が壊れたとしても、

私たちには天に、神から与えられた住まいがすでに用意されている」

(コリント第二・5章)

死すべき存在(mortal beings)だけが、
レンガや木でできた家に住む必要があります。
でも、不死の存在(immortal beings)は、不死の住まいに住むのです。
私たちが地上の生を終えて向かうその場所は、
レンガや粘土や宝石でできた場所ではなく——
今のこの次元を離れて、
まったく別の次元(ディメンション)に移る状態なのです。
それは確かに「家(house)」、
「幕屋(tabernacle)」、
「住まい(dwelling place)」なのです。
イエス様もこう言われました：
「この神殿を壊してみなさい。三日で建て直す」
人々はそれをソロモンの神殿のことだと誤解しましたが、
イエスのご自身の身体のことを言っていたのです。
そしてイエス様は、すべての信じる者のために
「場所」を備えてくださっている。
だから、私たちがこの地上の領域を離れるその瞬間——
私たちは「霧のような存在」になってどこかへ消えるのではありません。
私たちは「住まい」へと入るのです。
それはもしかすると、今この建物の中に存在している別次元の
領域かもしれない。
いかなる放射線も、自然界の力も触れることができない、
神が定められた“ただ一つの場所”なのです。
聞いてください。
モーセは800年前に死にました。
エリヤは600～700年前に天に上げられました。
でも、変容の山にて、
彼らはイエスと共に、人間の姿をもって立っていました。
十字架へ向かうイエスと話していたのです。
分かりますか？
私は言いたいのです——
私たちが目指しているものは、
何億光年も離れた遠い神話の世界ではないということです。

それは現実なのです。すぐそこにある“次元”なのです。

神が備えておられる「生ける者の住まい」――

それは確かに存在します。

そして、信じる者が死を超えて入る、神との完全な交わりの場所なのです。

31 私は先日、天文台のパロマー山に立って、時間、火星、最後の大陸などへの空間、そして毎秒何千マイルもの光の旅を見て、啓示を受けました。

天使が最も遠い星から始めて、ここに来るとしたら、彼がここに来るのに数十億倍、数十億倍、数十億年かかるでしょう。彼が火星から出発してここに来た場合、光の速度で飛んでいます...光の空間の...または、光の速度。彼がここに来るのに何十億年もかかるでしょう。

32 向こうに家があるなんて信じられない。しかし、私は神が話していたその家が今ここにあると信じています。それは、私たちがここで死ぬことをやめたとき、私たちが死すべき存在がその先の不死の場所に足を踏み入れる場所です。

そして、私はそれがイエスが今日いる場所、復活した主イエスであると信じています。百万マイル離れたどこかを越えてではなく、今ここに私たちと一緒にいます。

33 第4の次元では、人々はこの部屋を通して今ラジオ活動が来ていることを証明することができます...ラジオメッセージ。今、この建物を通り抜けてテレビの写真が来ていますが、私たちの目には速すぎます。

さて、あなたはその次元を何百万マイルも超えて行き、今朝この部屋にテレビの写真があるのと同じくらいリアルな場所に入らざるを得ないでしょう。ここには復活した神の御子、主イエス・キリストが立っています。そして、あなたが彼を見ることができない理由は、私たちの心がそれに同調していないからです。

そして、私たちがテレビの写真を見ることができない理由は、私たちの体が機械的に送られたものを拾うための道具として設定されていないからです。

しかし、私たちの体が神と調和し、神の一部になると、私たちの魂は聖霊の力を手に入れ、主イエス・キリストの存在と、神の力と全能性のすべてを立証することができます。彼は死からよみがえった。彼は今日私たちの中に住んでいます。そして、彼は再び彼の民との交わりを望んでいます。彼の偉大な威厳、彼の栄光は今広がっています。そして、彼はエデンの園でしたように、彼の民との交わりを再び望んでいます。

34 まだまだ長い道のりですが、この写真をお届けしたかったので、決して忘れないでください。どこにいても。プールルームにいる場合、ギャンブルホールにいる場合、目に見えない誰かがあなたを見ている。あなたが主のために迫害に立っているなら。それが何であれ、あなたが望む人に印を付けて、見てください。男は毎回、自分が蒔いたものを刈り取ります。彼が間違ったことをしているなら、彼はそれでうまくいくことは決してないでしょう。彼が正しくやっているなら、彼はそれで栄光を得なければなりません。あなたはそれを打ち負かすことはできません。それは神です。彼はここにいます。彼はあなたの心の奥底をよく知っています。彼はあなたが誰であるか、そしてあなたがしたすべてを知っています。

35 ミーティングでは時々、彼らのビジョンがどのように重要になるかを見ている。私は思いました。「神よ、どうしてそれができるのでしょうか。少し前にここに立っていたとき、腕を組んで私を見ている男が立っていました。そして、私は彼の声が私に話しかけ、そこで起こるであろうことを私に話しているのを聞きました、それは決して失敗しません。」それでも、彼は私から姿を消します。

そして、私は川の向こうに土地があり、どこかに、偉大な神の天使と神の存在の栄光ある人々が再び交わりをしている地域があることを知っています。

36 フェローシップ! 神は、初めに戻って、下に移動しました。そして、アダムとイブの魂は傷つけられていませんでした。彼らは轟音を聞くことができ、その美しい光が茂みの向こうに輝いているのを見ることができました。彼らと話しているのはエホバでした。

それから罪が彼らを引き離しました。彼らは罪を犯しました。神は罪深い人が聖なる神に到達するための唯一の準備をしていました。そして、それは自己正義によるものではありませんでした。それは古いものにパッチを当てることによるものではありませんでした。それは死と復活によるものでした:唯一の方法で

す。神は彼が罪を犯したのでエデンの園でその人を非難しました、そして彼の全身は泥沼でいっぱいでした。そして、決して新しいページをめくることができません。

37 聞いてください。私はあなたがどれだけ教会に参加するか、あなたがいくつの良いことをするかは気にしません。それらはすべて大丈夫です。彼女が寒いときに未亡人の石炭を買うのです。彼女がお腹が空いたときにあなたは彼女の食べ物を買う。あなたは小さな子供たちを通りから連れ出します。それは良いことです。それを考慮して言うことは何もありません。しかし、私の兄弟、姉妹、その古い基盤が完全に一掃され、魂が交わりのために神と接触できるようにするために、あなたはキリスト・イエスの新しい生き物になるまで、あなたは惨めな存在です。わかりますか？

そして、あなたが彼の存在のその素晴らしく輝かしい交わりに入るとき、すべてのささいなことはただ消え去ります。ああ、それはとてもささいなようで、とても子供のようです。それが私たちが問題を抱えている理由です。そういうわけあなたは公言されたクリスチャンがちょうど生きているのを見ます.... 今日彼らは大丈夫です、そして明日彼らはすべて間違っています、そして翌日彼らは....それは彼らが古い基盤を決して壊したことがないからです。彼らはキリストの上に築かれたことはありません。

38 さて、そこに戻って彼の栄光の中で彼に注目してください。彼が罪を犯したとき、神はかわいそうな人をとても気の毒に思いました。彼とイブが去っていくのを見てください。彼らは何ができるでしょうか？ 彼らには彼らの世話をする愛情深い父がいましたが、今は不従順によって交わりを断ち切られました。これ以上の交わりはありません。彼らは自分たちでそれを作らなければなりません。土まで耕し、眉の汗で生計を立てなければなりません。彼らは病気になって死ぬ必要があり、あらゆる種類のトラブル、心痛、そして失望を感じました。なぜですか？ 切断された交わり。神との交わりはもうありません。できませんでした。

今日、人が立っているところがあります。それがあなたが日曜日に働いている通りで彼らを見る理由です。それがあなたが日曜日に釣りに行ったり、狩りをしたりして彼らを見る理由です。それが、ここでそれらを見る理由、競馬や自動車レース、プールルームやダイビングなどでそれらを見る理由です。その人の中に何かがあり、何かを渴望していて、彼はそれを見つけることができません。そして、この世界はそれを生み出すことができません。そして、精神神学では、教会はそれを生み出すことができません。彼らはそれをするにはできません。

人は古い土台を壊さなければならず、人は再生されて新たに生まれ、神に戻らなければなりません。新しいページをめくらない。あなたは決してそれをしません。いいかもしれません。私はそれに反対することは何もありません—あなたがする良い仕事—しかしそれはそれをしません。教会に参加してもそれはできません。あなたの子供を連れて教会に行くことはそれをしません。それがあなたとの個人的な事になるまで。あなたがこの交わりに戻るまで。それから、私たちは死から生へと移ったことを知っています。なぜなら、私たちの霊は神の御霊の記録を持っているからです。私たちは神の息子であり娘であるということです。古いものはすべてなくなり、すべてが新しくなります。あります。オーマイ!

私がそれを考えるとき、これらの小さな古いものはどれほど少ないように思われます。私の妻はかつて歌を歌っていました。「ガリラヤの海岸から見知らぬ人の足跡で砂が洗い流されました。荒れた大波を鎮める声は、ユダヤではもう聞こえません。しかし、その孤独なガリラヤ人の道はとても嬉しく私は毎日たどります。そして、私が道の終わりに到達したとき、道の苦労は何も見えないでしょう。」

39 クリスチャンを引っ張るベールの向こうに何かがあります。彼はそれを説明することはできません。彼はそれを自分で理解していません。しかし、その交わりには、彼がキリストと持っている何かがあります。

そこから彼を切り離すと、彼は放浪者になります。それが理由です、貧しい、さまよう、今日のアメリカ人、通りにいる貧しい小さな仲間、若い女性、若い男性、全く交わりがありません。彼らは教会に行きます。教会はとてもフォーマルで儀式的であるため、彼らはそこでそれを受け取ることができません。彼らはそこでそれを見つけることができません。そして、彼らはそこでそれを見つけることができないプールルームに行きます。彼らはそこで見つかることができない喜びのビーチに出かけます。サタンは彼らに乗り、彼らの服とすべてを剥ぎ取ります。彼らはあらゆる種類の姦淫の中に住んでいます。かわいそうな小さな仲間がどこかの集会で「ああ、兄弟、どうやって……私は自殺するんだ」と言って引き上げます。見つかりません。いいえ。罪は人を交わりから切り離します。

40 さて、友よ、それはたった一つの道です。 私は彼らの多くが御霊の中で踊ることができ、舌で話すこと

ができ、建物中を走り回ることができ、そして他のすべてを見てきました。それでも交わりはありません。彼らは間違った基盤の上に築かれたので、彼らができる限り悲惨なのです。そうです。私たちは正しいこと、最初のことを最初に得なければなりません。そうしないと、最初からすべてが間違っています。あなたは基礎に戻らなければなりません。

それでは、その基盤が何であるかを調べてみましょう。そして、本当に神の言葉からその基盤を見つけることができれば、もはや疑問の余地はありません。何が起こるか見てください。さて、主にあって私の兄弟姉妹の声を聞いてください。フェローシップの基盤は1つだけです。神がウェルカムマットをアダムの墮落した人種に戻したのは一度だけであり、一つの理由で一つだけです。それはエデンの園で、彼が流された血によってそれを広げたときでした。私は血を信じています。それについて話さないでください。つまり、その中で崇拝することです。さて、神がアダムとイブのために和解をしたとき、彼は無実の代理人の血を流すことによって、血を流すことによってそれを成し遂げました。

41 ああ、今日、高くて正式な教会はそれから遠ざかっています、それを全く説教しないでください。そして、彼らは政治や世界のあらゆる小さなファンダンゴについて話をしました。それが正式な教会です。

そして、全福音教会は、彼らがそれから離れるまで、非常に多くの主義、彼らがこれをしなければならない小さなこと、そして小さな証拠や物事を始めました。そして、全世界がナンセンスの集合体になりつつあります。そうです。見ている状態で、それは哀れな形です。神がすぐに何かをされない限り、すべてが台無しにされます。

神よ、今日私たちに説教者を送ってください。それは土台の上に立って、罪人の男女に「家に帰る道は主イエスの流された血を通してである、唯一の道です」と呼びかけます。それについて話さないでください。つまり、それに入る。

42 神は子羊を殺し、アダムとイブを皮で覆い、血を流しました。神との交わりに戻る方法です。それからアダムは流された血を通してのみ神に戻ることができました。カインはアダムの最初のアイデアを思いついた。そして、イチジクの葉をピンで留めることによって自分自身を宗教にしました—アダムはそうしました—彼とイブの上に。しかし、彼らはそれが神の適切な方法ではないことに気づきました。したがって、彼らは彼の前に立つことができませんでした。

そして今日でも私たちは自給自足を使っています。私たちは男性のさまざまなアイデアや無駄な哲学をすべて使用していますが、それはまったく無意味です。イエスは言われました、「人は私を崇拝し、教義のために人の伝統を教えます。無駄に礼拝するのです。」あなたは主を崇拝することができますが、それでも正しい方法で崇拝することはできません。それは和解のためにあなたに考慮されないでしょう。

さて、幕屋、これについて考えてほしい。ただそれを通り過ぎさせないで、「ビル兄弟が入って来てそう言った」と言ってください。あなたの心にそれを持って行ってください。それについてよく考えてください。なぜ浮き沈みがあるのですか？なぜ物事は彼らが行っているように進むのですか？なぜなら、最初に基礎に戻らなければならないからです。

43 さて、アダムは確かに、もし彼が裸を隠すだけなら、なぜ、彼は大丈夫だろうと思いました。

男性は今日も同じことを考えています。私は教会に参加しに行きます。たぶん、多くの人が「私は他の人のようになりたいので、私はただ……信じることができます。叫ぶまで手をたたくことができます。」他の人は、「私が少しだけ舌で話せば、私は大丈夫だと信じています」と言います。そして、あなたは声の混乱を得て、舌で話さないかもしれませんが、あるいはあなたは本当の言葉で話すことを得るかもしれませんが、そしてそれでも正しくないかもしれませんが。パウロは言いました、「私は人と天使の舌で話し、慈善を持っていませんが、私は何でもありません。」

あなたは、「まあ、私がここに出て病人に手を置くことができ、彼らが元気になれば、私は大丈夫だろう」と言います。パウロは多くの人がそうするだろうと言いました…イエスは言われました、「その日、多くの人が私に来るでしょう、主よ、私はあなたの名前で悪魔を追い出しましたか？あなたの名において、私は預言したり、説教したりしていませんか？あなたの名前ではありません、私は多くの強力な仕事をしましたか？それから私は彼らに告白します、私はあなたを知りませんでした。私から離れなさい、あなたは不法の働き人です。」

他の方法で来る。今、深く沈めましょう。神の適切な方法以外の方法で来る：血。アダムは彼ができる

限り基本的な、同じくらい良いカバーで出てきました、しかしそれは間違っただけでした。そして今日、人々は教会を持っており、彼らは参加し、彼らの名前を付け、改革に行き、立ち上がってコミュニオンを取り、そしてそれができる限り宗教的に、さまざまなことをします。しかし、それでも、それは方法ではありません。それは神が言われたことではありません。

それから、流された血に基づいて、アダムとイブは神との交わりへの道を再び家に帰らせました。それは古くから使われていました。あらゆる時代を通して、それは使われていました。

44 聖書の中で最も古い本であるヨブ(私たちの聖書の朗読に戻る)、彼はそれを使用しました。ヨブの書は創世記が書かれる前に書かれていました。ヨブは聖書の中で最も古い本です。さて、もちろん、モーセは数百年後に創世記を書きました。しかしヨブ:今、彼が交わりのために神に来なければならなかった唯一の方法は、子羊の流された血と全焼のいけにえを通してでした。

そしてある時、神は彼を祝福し、彼は偉大な人になりました。彼は富を積み上げ、ラクダと牛と羊を持っていました。ああ、彼はなんて素晴らしい人だったのでしょうか。そして、誰もが彼に頭を下げて、「ヨブ、ああ、あなたは模範だ」と言いました。それから、告発者であるサタンが現れて神の前で言いました。そして神は言われました、「あなたは私のしもべヨブ、正義の人、完璧な人だと考えましたか? 地球全体で彼のような人は誰もいません。」考えてみてください。「地球全体で彼のような人はいません。」

彼は言いました。あなたは彼の周りに生け垣を持っています。そして、人はすべてを持っています:健康、強さ、そしてたくさんのお金、そしてたくさんのお金。確かに、彼はあなたに仕えることができます。」しかし、「彼に数分待たせてください」と言いました。「きっと彼をバラバラにする」と言った。そして、「私は彼にあなたをあなたの顔に呪わせます」と言いました。

45 さて、注目してください。ああ、私はこれが大好きです。神よ、心を知って……ヨブにはただ一つの方法しかありませんでした。それは交わりを通して、血を流すことを通してです。彼は神と話していました。彼は自分がそうであることを知っていました。神はヨブと交わりを持っていたので、ヨブに自信を持っていました。

神よ、ブラナムタバナクルが今日それを見ることができるよう。神があなたに自信を持つことができる唯一の方法は、あなたが何かをしたり、信仰を持って何かをしたりするためではなく、あなたが交わりを持っているときです。アーメン。フェローシップ。

46 偉大なバプテストの復活が今始まっています。先日の朝、バプテストの説教者が「チャーチルダウンズでは、バプテストのリバイバルに参加するよりも多くのバプテストメンバーがチャーチルダウンズにいるでしょう」と言うのを聞きました。それが真実です。なぜですか? バプテスト教会が失望したからです。彼らはメンバーによってバプテストになります。彼らは教会に加わることによってバプテストになります。彼らは洗礼のプールによってバプテストになります。

しかし、もし彼らが彼らの造り主と交わり、神の臨在が神と話し、交わるならば、この世のものよりもはるかに大きな宝となるでしょう。彼らはそのような場所に行くことを心配する必要はありません。もし男性がフェローシップを通して来たとしても、あなたはそれについて気にする必要はありません。アーメン。

47 ネヴィル兄弟がどんなに素晴らしい人で、彼がどれほど立派だったかを教えてください。聞いたばかりなら大丈夫だと思います。ああ、確かに、私はそれを信じています。しかし、私が彼としばらく交わりを持つまで、私は個人的には決して知りません。私たちがテーブルに座り、一緒にテーブルを見渡して、お互いの前に心を置き、私たちの精神が混ざり始めるまで。それから私は彼が何で構成されているかを知っています。そしてまで....

あなたは説教することによってイエスのことを聞くかもしれません。お母さんが「彼は素晴らしい」と言うのを聞くかもしれません。牧師が「彼は病人を癒す」と言うのを聞くかもしれません。そして、彼は彼の力を送り出してあなたを癒したかもしれません。しかし、交わりの中で彼と一度座って、あなたの霊が混ざり合い、あなたが神の息子であり娘であるという記録を互いに持っているまで、あなたはそれが何であるかを知ることが決まっています。その後、古いものは消え去ります。もう世界のことを心配する必要はありません。「一つの捧げ物によって、彼は血を通して彼と交わりを持った人々を永遠に完成させました。」フェローシップ。

48 さて、神はヨブに自信を持っていました。彼は彼と交わり、ヨブが彼を信頼できることを知っていました。

た。それで彼は言いました「オーケーサタン、続けます 彼はあなたの手元にいますが、あなたは彼の命を奪ってはいけません。あなたは彼に他に何でもすることができます。」それで、サタンは彼のオフィスが得意で、彼は去り、そして彼はヨブのすべての子供たちを殺します。

さて、ちょっと気づいてほしいです。仕事のようなものはそれについて事前に考えていたと私は信じています。彼の子供たちが、ある日彼ら全員が集まったとき、彼らは大きな大きな宴会を開いたことに気づきましたか？

49 これらの大きなパーティーに行くと、いつもトラブルに巻き込まれる場所があります。事務所は大きな打撃を与えるでしょう。ビリー・グラハムが先日の新聞で言ったように、「あなたはクリスマスの前夜に降りるでしょう」と、「そして、初めて元気になって酔ってください。あなたは自分の魂に逃げ出さなければなりません。」[テープ上の空白のスポット]あなたは長い間ペンを張られてきたので、あなたはただ外に出て、しばらくの間あなたの魂を手放す必要があります。ただ外に出て、休暇でたくさんの楽しい時間を過ごし、自分自身を解放する必要があります。

兄弟、それはあなたがキリストとの交わりを一度も持っていなかったことを示しています。男性または女性がキリストとの交わりの本当の神聖な味をこれまでに持っていたなら、私は世界のすべての休暇や物事よりもむしろそれを持っていると思います。確かに。あなたが私にリラックスを与えたいなら、私にキリストを感じさせてください。少しの間彼と話をさせてください、私の重荷は転がり落ちます。すべて完了しました。いいえ...私は世界で知っている何よりも彼と話したいです。彼と交わりを持つ。

それで神はヨブが味わったことを知っていました。ダビデは、「主を味わい、見てください」と言いました。一度、彼のあとを味わって、彼が良くないかどうか確かめてください。それは岩の中の蜂蜜のような味がします。さて、素晴らしい交わり。

それでサタンが降りてきます。しかし、彼が降りる前に、ヨブは「今、私の子供たちは今夜パーティーに出かけています」と言いました。ヨブのような父親や母親、つまり両親をこれ以上増やすことはできないのではないかと思います。「私の子供たちは今夜パーティーに出かけています。彼らは世俗的な隣人の何人かを呼びました。さて、おそらく彼らは罪を犯すかもしれません。」オーマイ!

母親が、そして父親がこれをもっとやったら、彼らは少年の滞納がなくなるでしょう。子供たちは彼らのように通りを走っていないでしょう、ほら。

「さて、冒険のたびに、もし彼らが罪を犯すかもしれないなら、私は一人一人に捧げ物を提供するつもりです。何かが起こったら、彼らは家に帰る流血の方法があるでしょう。」と言いました。オーマイ!「私は彼らにそれを提供します。だからここにジョンのためのものです。ヨハネに犠牲を捧げます、神様。さて、もし彼がたまたまその道から外れてしまったら……彼を導くために聖霊はまだ来ていません。ですから、もし彼が道から外れたら、主よ、私は彼をこの道にします。」オーマイ!「メアリー、彼女は今夜そこにいます。それで、主よ、もし彼女が迷ったら……私は彼女の権利を上げました。しかし、もし彼女が迷ったら、私はこの流血の方法で彼女を道にします。」

神よ、そのような子供たちのために祈って、夜にそれらの年老いた母親をもう少し私たちに与えてください。それはあらゆる国のバックボーンです。大丈夫です。

「私は彼らを道にします。」

それでしばらくすると、悪魔の怒りが降りてきて彼ら全員を殺し、外に出て彼のすべての羊とすべての牛、そして彼が持っていたすべてのものを殺しました。彼自身の健康さえも失敗しました。そして、彼は沸騰して勃発し、灰の山に壺を持って座って、沸騰したものをこすり落としました。彼が持っていたものはすべてなくなっていました。オーマイ!

ここにあります。見てください。もし彼が知的信仰しか持っていなかったらどうなるでしょうか？彼の推論は、ベルザーと彼ら全員が降りてきて、こう言い始めたとき、言ったでしょう。さて、ここで見てください。それはあなたが間違っていることを示しています。ヨブ、あなたの神学全体が間違っています。神があなたに背を向けているのを見るからです。あなたは間違った教会に参加しました。ほら、ヨブ、見て、すべてがうまくいかなかった。」しかし、ヨブ、もしそれが彼が持っていたであろうすべてであったなら、それが彼が考えることができたすべてであったなら、彼自身の心が彼に言い、それを推論し、そして言ったでしょう。「私は彼らが正しいと信じています。彼らは正しいと信じています。」

しかし、(アーメン)ヨブには交わりがありました。「いいえ、私はしていません。なぜなら、私はこの一つのこと私の信仰の基礎を置いているからです。それは私が彼と話したということです。そして、私は彼の提供された道にきました。私は流された血の道を通って来ました、そしてそれは彼が要求するものです。そして、私は彼と話しました、そして私の魂は彼に住んでいます。」そこにあなたがいます:フェローシップ。それのようなものは何もありません。

50 あなたの正式な崇拜をやめ、一度彼との交わりに入りなさい。これを日曜日に教会に行き、寝る前に毎晩少し祈りを言うのをやめてください。本当に出て行って交わりに入るのです。私! あなたは急いで皿を洗うので、再び交わりに戻ることができます:みことばを読み、彼と話します。それが私たちに必要なものです。それが今日世界が必要としているものです、クリスチャンの友人。それがあなたに必要なものです。それが私に必要なものです。それが全世界が必要としているものであり、交わりに戻り、彼との交わりに戻り、彼を知っています。

51 パウロは、「彼の苦しみの交わり、彼との迫害を負っている」と言いました。ご存知のように、パウロは……彼はキリストと共に苦しんでいた人でした。そして、あそこの奴隷が逃げていたとき……私はそれが好きです。パウロは、暴走した奴隷が逃げるまで、非常に多くの迫害、キリストの多くの事柄を負っていました。パウロは、奴隷が回心した後、主人に書き戻しました。「もう彼を奴隷として扱わないでください。」「彼を兄弟として扱ってください」と言いました。「彼があなたに何かを借りているなら、それを私に請求してください。私が来る時、私はあなたに支払います。」分かりますか? 彼は、それが追放者であることが何であるかを知るまで、彼の苦しみの中で、キリストとの交わりにとてもいました。追放されることが何であるか知っていますか? 彼は自分の苦しみの中での交わりが何であるかを知っていたので、他の人に同情する方法を知っていました。

それがキリストが人間になった理由です。彼は病気のうめき声を知っているかもしれません。彼は失望の心痛を知っているかもしれません。彼は私たちと一緒に交わりを持つかもしれないからです。彼は私たちと同じように、失望と心痛と病気の人生に参加してきました。彼は私たちの病気と問題を自分の体に負わせたからです。フェローシップ。

52 今すぐ気づいてください。このフェローシップトークは終了します。

さて、ヨブには交わりがあり、それはなんと素晴らしい時でした。そして、神はできませんでした...サタンはむしろ、ヨブをこの交わりから振り払うことができませんでした。それで彼の妻が出てきました、最後の手段です。サタンは言いました。「私は彼を彼の妻に通します。そして、私は彼女を作ります...子供たちはそれをするのができなかったので、私は...そして彼のすべての富を失うことはそれをするのができず、彼の健康を失うことはそれをするのができませんでした。」ですから、地球上の男に最も近い、あるいはそうあるべきであるのは彼の妻でした。それで彼は妻を連れて行きました、そして彼はそこに出てきました。そして彼女は言いました、「仕事、あなたがどのように見えるか見てください。ビルダッド、ベルザー、それらのいくつかは正しかったに違いありません。なぜ、あなたは間違った教会に属しているに違いありません。あなたはすべて混乱しているに違いない、ヨブ。多分あなたは間違っていたのでしょうか。さて、見た目は、神を呪って死んでみませんか。あなたを見てください。より良い教会に加わることができました。」

彼は「あなたは愚かな女性のように話します」と言いました。彼は自分がどこに立っているか知っていました。精神的な神学や知的信仰ではなく、全焼のいけにえである血によるキリストとの交わりによるのです。彼は神を崇拜していた。彼は「あなたは愚かな女性のように話します」と言いました。彼は言いました、「主は与えられ、主は連れ去られました。主の御名が祝福されますように。」

あります。それが交わりの崇拜者です。それは本当に彼と話した人です。次に、あなたはあなたが話していることを知っています。あなたが何か他のものを取っただけなら...そしてこれらは大丈夫です、これらの他のすべては大丈夫です、私はそれに反対するものは何もありませんが、それはまだ根拠ではありません。それだけに基づいて構築するのではなく、知的信仰です。ここの基礎に戻って、それをここに入れて、それから彼と礼拝し、彼と話し、彼との交わりをしてください。そして、これらの他のものの上に構築し、これらの他のものをその基盤に持ち込みます。しかし、あなたはこれらの基本的な真実を何の関係もない基盤に持ち込もうとしています。それは置くようなものです。

建物のどこかにあるこのウッズ兄弟は請負業者です。さて、虫食いで、シロアリが建物を食い尽くし、土台まで腐ってしまった古い建物を手に入れるのは、彼にとってどんなに良いことでしょう。外に出て、彼が見つめることができる最高の材木をいくつか手に入れます。良い、乾いた、味付けされたレッドウッドです。家

にそれを貼り付けます。ここに出て、世界で最も高い塗装国が推奨する塗料を入手しますか？彼は言った、「ここに見える、説教者、私はこれが本物の、本物のレッドウッドであることをあなたに示すことができます。」

「はい、ウッズ兄弟、そうです」と私は言います。

「ここに見える、これが家に塗ることができる最高の塗料であるという承認の印です。」

「そうです、ウッズ兄弟。しかし、あなたの基盤は間違っています。それは下がらなければなりません。」

それが問題なのです。聖書を読むことは正しいです、福音を説教することは正しいです、しかしあなたの基礎は間違っています。物事に対するあなたの精神的な概念を引き裂き、血を流すことによって神をあなたの心の中に入れ、そこから構築してください。あなたがそれを正しい土台の上に持っていれば、あなたの木は大丈夫です。あります。今は私に腹を立てないでください。少しカットするかもしれませんが、これは真実です。これはあなたを助けるものです。さて、注目してください。正しい基盤、交わりに戻りましょう。

53 「さて、ブラナム兄弟、どうやって交わりをするのですか？何が私たちを交わりに導くのですか？」血を流すこと。それは、エデンにありました。それは、ここでヨブと共に、エデンの後だった。

それでは、もう1つまたは2つの場所に移動してから、急いで閉じます。

さあ、よく聞いてください。これがあなたがこの交わりに入る方法です。「どうやってそれを手に入れましたか、ブラナム兄弟？どのようにしてこの交わりに入るのですか？」血を流すことによって。いくつかの経験からではありません。いいえ、先生。精神的な感情によるものではありません。いいえ、先生。体を動かすことによるものではありません。いいえ、先生。それらは大丈夫ですが、それでもそれは根本的な真実ではありません。

あなたがここに正しく戻るまで、ここに帰って、あなたが祭壇に着くまで、そしてすべての古いものが消えるまで、それをここに置いたまま片側に置いておきます。すべての理解を通過する平和がやって来ます。あなたがこれ以上憎むことができなくなるまで、あなたはもう羨むことができなくなります。あなたが今まで持っていた最悪の敵を愛するようになる何かまで。それは想像ではありません。あなたを迫害する隣人について話すのを妨げる何か。とにかくあなたを使っている人を愛してくれる何か。それはあなたに無関心で醜い人々のためにあなたを祈らせるでしょう。それが基盤です。

54 封印された天使が国を横切ったとき、彼はその都市で行われた忌まわしさのためにため息をついて泣いた人々に印をつけるように命じられました。私は今、敬意を持って、そして敬意を持ってこれを言います。私に腹を立てないでください...むしろ怒ってください。しかし、封印された天使が今日この国を渡ったとしたらどうでしょうか？この崩壊しつつある国の罪のために、彼らが罪のために昼も夜も泣くまで、彼はどこで人々が神に深く奉獻されているのを見つけるのでしょうか？彼は教会をどこに記すのでしょうか、「主イエスよ、早くそして祈り、そして長く」と言われました。彼はどこでその人を見つけるのでしょうか？

私たちは教育を受けて出発しました。私たちは素晴らしい花の説教の後に出発しました。私たちはハリウッドのドレスと狂信の後に出発しました。教会はとても大きくなければなりません。それは豪華でなければなりません。いたるところに十字架があるに違いありません。パイプオルガンが必要です。それらは大丈夫です。しかし、私たちはすべての考えをそれに置き、本物を省きました。

55 最初の証拠を追いかけ、異言で話し、叫び、そして何かをしたペンテコステ派の人々。彼らは大丈夫ですが、あなたは本物を除外しました。なぜなら、あなたは神を愛し、同時に憎むことはできないことが証明されているからです。苦い水と甘い水は同じ噴水から来ることはありません。あなたは教会で異言で話し、神の癒しを持ちながら、それでも羨望と争いと悪意と憎しみを持つことはできません。あなたはそれをするにはできません。混ざりません。神は世界と同じようにそれを引き抜かれます。戻ってきました。それが教会に起こったことです。

あなたは「異言で話すことに反対していますか？」と言います。いいえ、先生。私はそのためです。それは神の言葉です。しかし、私は教会がたくさんファンダンゴのもので行って、戻ってこなかった、まだ認識していないところがわかります。なぜなら、彼らはこれらのことをし、悪意と憎しみと争い、同じものを混ぜ合わせれば、油と水は混ざりません。意味がわかりますか？戻ってきましょう。

56 今朝、この小さなユニットをここブラナムタバナクルで、彼らの心に目的を持たせましょう。「私たちは戻ってきます。財団に戻ります。神よ、私に正しい種類の霊を創造してください。私の中に愛、すべての理解を

渡す平和を創造してください。そして、強大な神よ、そこから私を建ててください。何か問題が発生した場合は、財団に戻ってもう一度やり直してください。」ボードをはがして、もう一度降りてください。それを正しく構築させてください、'原因、それはただ....'原因、あなたがそれをどれほど高く構築しても、あなたが落下するとき、それはより重い落下になるでしょう。アーメン。ああ、人々。

57 さて、イスラエル、彼らが神との交わりに入るとき、神との交わりの場所の一つしかありませんでした、そしてそれは幕屋にありました。幕屋では、常に出血の犠牲が起こっていました。人々....神は流された血の下以外で他の場所で人々と会うことを決して約束しませんでした。考えてみてください。さて、それを少し浸してみましよう。

締めくくりの準備をしています。

見てください。神は、彼の長所、彼がどれほど良いか、または彼女がどれほど良いかについて、どんな人にも会うと約束したことはありません。彼はそこで彼らに会うと約束したことは一度もありません。あなた自身の長所には神との交わりはありません。交わりがある唯一の場所は流された血の下です。創世記から黙示録まで、それは血を通してのみです：有罪で悔い改めた罪人をカバーするための罪のない代用者。血だけ。

さて、すぐに気づいてください。イスラエルはその建物に行きました。彼らは血を流した。そして、この建物の中で、神が信者と出会い、交わりをする唯一の場所でした。建物の中では、そこに流された血がありました。子羊は毎日祭壇で死にました。血が流れ、幕屋に黒い煙がかかった。そして神は罪を見ることができなかったので、人々は血の下に行き、交わりを持っていました。

58 今見てください。出エジプト記の第19章で、イスラエルの子供たちが旅を始めた時期がわかりました。

締めくくる前に、少しの間、私にあなたの細心の注意を払ってください。神はモーセに言われました、「私はあなたにそこに出て行って、雌牛、赤い雌牛、赤い雌牛を連れて行きたいのです。そして、私はあなたに彼女を連れて行って殺して欲しいのです。そして、私はあなたが彼女を殺したとき、司祭であるエリエゼルに立ってそれを目撃させてほしいのです。そして、彼がそうするとき、未經産牛が死んでいる間に、血の中で彼の指を打ち、それを会衆の礼拝の場所に、このようにドアの向こう側に7回置きます。箱舟の前、公の礼拝の場。そして、未經産牛を連れて束ね、燃やします。そして、彼女の灰を取り、緋色の木材、ヒソップ、杉と混ぜ合わせます。」

ああ、緋色の木材、ヒソップ、杉など、それらが何であるかを見に行く時間があればいいのにと思いますが。彼らが言うように、あなたはイエスがハナミズキの木で死ななかったことを知るでしょう。

「それから、それをすべて一緒に燃やし、分離の水のために、外側のきれいな場所に置きます。そして、人が交わりから離れるたびに、彼は来て、この分離の水を彼に振りかけなければなりません、そうすれば彼は交わりに入ることができます。それ以外では、彼は入ることができません。」

59 さて、閉じる前に、これがどれほど美しいかを見てください。最初の、赤い雌牛：赤い色は何かを意味します。さて、私たちにとって赤は「危険」を意味します。悪い兆候です。赤く見えるのは「やめなさい」という意味です。それは危険です。そしてまた、聖書の赤は覆いです。赤は贖罪です。赤は安全です。娼婦のラハブが赤い紐にスパイを安全に降ろした時のことを覚えていますか？ 赤の下で、常に安全。今、血は赤いです。

さて、見てください。あなたは科学的研究をします。そして、あなたは赤、赤い商品または赤いもの、セロハンを取り、赤い部分を見ると、赤から赤までが白く見えます。試してみてください。赤を取り、赤を通して見ると、白く見えます。

まあ、私たちは間違っただけを通して、赤くなっています。「あなたの罪は緋色のようですが」赤。主イエスの流された血を通して、神はそこを通して見えています、赤から赤までは白く見えます。「彼らは雪のように白くなります。」分かりますか？ 他の何かを通してではありません。しかし、血を通して、彼が交わりをすることができる唯一の場所です。その外では、あなた自身の正義、彼はそれを見ることは決してないでしょう。あなたの良い働き、彼はあなたが血の下に来るまでそれを決して知りません、そして彼はあなたを彼自身の最愛の息子または彼の娘として見ます。赤から赤までが白く見えます。

あなたが何をしても、罪人の友人は、神が見たとき、あなたがあなたの罪を間違っていると告白

し、神が主イエスの血を通して見たとき、あなたが真っ白になっているのを見ます。あなたが何をしたとしても、彼はキリストの血を通してあなたを見ているのです。あなたは贖われた、貴重なものです。神はもはやあなたを非難することはありません。彼はあなたを非難することはできません。

60 神が最初の人を造られたとき、彼は天と地を造られました、そして神が古い創造物に立ち返ってそれを見たとき、彼はそれを判断するためにそれを見ませんでした。彼はそれを見て、「それはどれほど良いか」と言いました。彼はそれを賞賛した。オーマイ! 分かりますか? 彼はそれがどれほど良いかを見て見ました。すべてが完璧でした、木とすべて、男性、女性、それはすべて完璧でした。彼は「とても良いです」と言いました。しかし、今、サタンはそれを変質させました。

しかし、もし神が彼の最初の創造物を非難することができなかったなら、あなたがキリスト・イエスの中で新たに創造されたとき、神が彼の2番目の創造物を非難することはさらに不可能です。自分ではできません。どんなにやりたいとしても、それはできません。それは神の賜物です。「私の父が彼を引き寄せない限り、誰も私のところに来ることはできません。そして、私に来るすべてのことを、私は彼に永遠の命を与え、最後の日に彼を育てます。」

そして、神があなたを新たに生まれたとき、聖霊によって、彼はあなたを完璧な業としてのみ見ることができます。なぜなら彼はそれを彼自身がしたからです。栄光! アーメン。アーメン。彼はあなたを非難することはできません。あなたは彼の技量だからです。アーメン。オーマイ! メソジストのように叫びたくなる。考えてみてください、あなたは神の技量です。彼はどうやってそれをしたのですか? ソブリンの恵み。あなたがジャンプしたからでも、教会に行ったからでも、新しいページをめくったからでもありません。神が憐れみによってあなたをキリストと交わりに連れて来られ、あなたを彼自身の完璧な業と見なされたからです。なぜですか? 「私は彼を連れてきました、私は彼を血に流しました、そして私の仕事に何も問題はありません」と彼は言いました。あなたは神の技量です。

61 さて、ちょっと待ってください。さて、彼らはどうやって来たのですか? 彼らがやって来て、もし彼らが何か間違っただけをしたなら……この分離の水はきれいな場所に保たれなければなりません。ああ、私たちが少しの間それに対処できればいいのにとおもいます。きれいな場所です。分離の水はみことばです。パウロはこのエペソ人への手紙で、「彼は言葉の水で私たちを洗ったからです」と言いました。ほら、分離の水、みことば、みことばの説教があなたを分離します。あなたはみことばを聞いて、「私は間違っています。これはやめたほうがいい。私は教会で遊んでいます。やめたほうがいい。」ほら、それが分離の水です。

「そして、清潔な場所に保管する必要があります。」タバコを吸う説教者ではありません。いいえ、先生。全国を駆け巡り、他の女性などと一緒に走っている説教者ではありません。自由な愛とこれらすべての不敬虔なことを実践し、野球の試合に行き、教会で大きな娯楽と社交的なダンスをしている教会ではありません。それは守られるべきです……神の言葉はきれいな場所に保たれるべきです。アーメン。わがままな人がやって来たとき、彼はきれいな場所に来て、分離の水を振りかけることができる、きれいな場所。

62 それではそれは何ですか? 彼がみことばを教えているとき、今、正しい水があれば……今、あなたが間違っただけの水をまき散らしているなら、彼らはこう言うでしょう。これは素晴らしい教会です。あなたはその本にあなたの名前を載せるべきです。ああ、わかった! 神に栄光を、私たちはそれを持っています!」それは間違っただけの水です。

分離の正しい水、それは何でしたか? それは有罪の罪人のために死んだ罪のない代理人について話していました。キリストの一種である赤い雌牛が死にました。そして、覚えておいてください、その首にヨークは決してありません。キリストはどの組織にも縛られていませんでした。彼は彼らを全く騙しませんでした。彼はすべてに夢中になっていませんでした...何もしませんでした。それを続けるために少し時間がありました。大丈夫です。

しかし、それは分離の水にされました。ほら、それは教会の宗派を自慢していません。それはそれとは何の関係もありません。それはあなたの代わりに死んだ死んだ代理人についてのみ語っています。「私たちの人々」でも、「私たちの大きな教会」でも、「私たちの組織」でもありません。しかし、それは何でしたか? あなたの代わりに死んだ罪のない代理人、それは主なるキリスト・イエスでした。それから、みことばを私たちに持ってきて、それから分離の水がその人にかかけられます。

ここで、閉じる前にすぐに気づいてください。

63 さて、次のこと、この罪のない代用品からの血は、公の証言として、そのように7回打たれました。7は神

の完全な数です。7つの教会時代。最後の7つの教会時代、フィラデルフィア教会、ラオデシア教会、教会...すべての教会時代は同じ流された血を経なければなりません。

64 さて、その男が来ました。彼は会衆の中に座っています。彼はみことばを聞いた。さあ、見てください。彼は交わりを望んでいます。彼は入ることができません...建物、その建物は交わりの唯一の場所です。彼らが来ることができた唯一の場所は、神との交わりを持つためにこの建物の中にありました。なぜなら、神はそこで彼らにしか会わなかったからです。さあ、今すぐ閉じて見てください。なんというタイプのキリストでしょう。

今日、神はメソジスト、バプテスト、ペンテコステ派を通して交わりをすることを約束していません。彼はキリスト・イエスとの交わりを約束しました。それはあなたの交わりがあるところです。あなたは人類の部下と交わり、参加することができます...あなたはムース、エルク、またはオッドフェロー、それらのロッジに参加することができます。彼らは大丈夫です。彼らは大丈夫です。しかし、それは私が今朝話していることではありません。私は永遠のキリストであるキリストとの交わりについて話しているのです。

65 さて、血がまき散らされ、水が、みことばによって水が洗われると、みことばが出て行きました。あなたは言います、「まあ、見て、私は教会に加わった。私はこれをしましたが、実際にはその経験はありません。それはなんですか？」それは分離の水です。「まあ、母の教会に参加しても大丈夫だと思いました。」そうではない、兄弟。いいえ、先生。誰かがあなたのために死にました。それがキリスト・イエスでした。あなたは彼を受け入れなければなりません。次に、それを受け取ります。

66 次に、あなたは交わりに向かって始めます。どうぞ。「まあ、ブラナム兄弟、どこで交わりができますか？」キリストにおいて、神殿において、彼の住まいの幕屋。「どうすればいいですか？」まず、ドアまで歩いて行きます。あなたはみことばを聞いた後、ドアまで歩いて行きます。あなたは精神的な信仰を持っています。あなたは言います、「はい、私はみことばを聞きました。私はそれを信じています。」

さて、あなたがこの場所に入る前に、浄化のためにそこに血のベールがぶら下がっています。そして、あなたはその血を無実の代用品として認識しなければなりません。みことばの説教を通して、血のベールを降ろしました。そこであなたは誰かがあなたの代わりに死んだのを見るでしょう。それから、あなたはあなたのすべての地上の所有物、あなたのすべてのファンダンゴの考え、あなたのすべての踊り、あなたの不道德な生活、そしてあなたが自分自身で考えたすべてのこと、あなたが教会に行くこと、そしてあなたの新しい規則を捨てるでしょう、あなたの10の戒め、肉以外の食事、そしてこれらすべてのものを、あなたはそれらを脇に置きます。

完全に血に染み込み、「主よ、私を洗い、私を清めてください」と言いなさい。それから、交わりがあるこの血の細胞の中にある聖霊が、聖霊によって清めの血を通してあなたを主イエスに引き込みます。その後、あなたは交わりにいます。古いものは過ぎ去りました。それからあなたは聖霊による交わりにあり、あなたを神との関係に引き込みます。そして、そこにあるのは...ここにいます。真の交わりの中で、今日、誰もが会い、礼拝することができる唯一の待ち合わせ場所は、キリスト・イエスの中にあります。

67 教会、見えますか？今朝、私は長い間過ごしてきました。考えていなかった、これほど長く滞在することを目指していませんでした。しかし、私があなたに提示しようとしたものをあなたが見てくれることを願っています。

それはどんな基盤があったとしても……あなたはとても良い人かもしれません。あなたは立派な教会に属しているかもしれません。それはすべて良いことです。それに反対するものは何もありません。しかし、あなたは彼との交わりにまだ来たことがありますか？来て、そしてあなたがそれをする唯一の方法は、彼の苦しみを通してです。それからあなたはその場所に来てみことばを聞いて言います、「はい、イエスは私の代わりに死にました。私はそれを信じています。今、私はこのすべての気性と私が続けているこれらすべてのものから浄化されなければなりません。さて、主よ、私を血に流してください。ここにいます。」

そしてしばらくすると、すべての理解を通過する甘い平和が人間の心にやってくるでしょう。次に、そこを見上げると、「今、私はフェローシップに住んでいます。どこへ行っても、何をしても、私はこの素晴らしい交わりの中にいます。すべての理解を通過する平和、聖霊が私の中に生きています。私は毎日生きています...死が来たら、それは私に何ができるでしょうか？私を傷つけることはできません。」

あなたの魂はそこにある何かを切望しています。毎日あなたはそれを探していて、それがどこにあるかを見えています。ここにあるあなたの古い幕屋、痛みとうめき声ときしむ音、そしてああ、古い誕生の苦痛がそ

れにやって来ているので。そうです。それはどういう意味ですか？この古い粘土の塊はいつか消えていくでしょう。しかし、その小さな粘土の塊の中には、抜け出そうとして、自分自身を解放しようとしている何かがあります。ああ、それはなんですか？それは魂と呼ばれる小鳥です。そしてそれがそれ自身を解放することができる唯一の方法:ある朝、粘土が壊れ、私たちは落ちて上がり、そして永遠の賞を獲得します、魂がその恋人に会いに行くとき、両腕を伸ばして。あなたをここに留めている唯一のものは、この小さな古いラケットのような粘土の束です。

68 そして、神が今日福音を説教することができる唯一の方法は、その粘土の塊を通してであり、それが神があなたをここに留めておられる理由です。そしてそれがあなたの病気の人々がキリストに来る権利を持っている理由です。言うてやるがいい。「主イエスよ、あなたが今私を癒すだけなら、私は行きます。私は説教者ではないかもしれませんが、それについて話します。できる限りのことをします。あなたはぶどうの木です。私は支部の1つです。」さて、ブドウの木は実を結びません。枝は実を結ぶ。つるではありません。ブランチ。つるはそれにエネルギーを入れるだけです。あなたが自分自身を開き、実を結ぶ枝になるならば、福音はキリストによって説教されることができます。他の人は、あなたの証、あなたの人生、そしてあなたの生き方によって、あなたの中にキリストを見ることができます。彼はエネルギーですが、あなたはショーの写真です。あなたは歩く聖書です。

69 神はあなたを祝福します、友よ。私は体が弱いなどの理由で、今朝、あなたがこれらの壊れた言葉を受け取ってくれると信じています。あなたはそれらをあなたの心に取り入れ、私が私の心からそれらを持ってきたことに気づくでしょう。その基盤を築くために、キリストとの交わりに戻ると、あちこちから、あちこちを越えて走る必要はありません。あなたはいつも彼と常に交わりを持っています。

70 ちょっと頭を下げましょう。姉妹、ピアニスト、ここに来るなら。すべての頭がお辞儀をした。

私たちがこれを考えている間、私はあなた方一人一人が今これをあなたの心に深く受け止めて欲しいです。「私は本当に...私は本来あるべき場所にいるのでしょうか？私は本当に、すべての理解を通過する平和を持っていますか？私は本当にキリストとの交わりを本当に必要としているのでしょうか？私は彼と話しますか？私の心は毎日話すために燃えていますか？私が少しの祈りの時間を逃したとき、私の心は彼にたどり着くことをただ望んでいますか？」それがあなたの州でないなら、友よ、今日来てください。しませんか？あなたがしなければならない唯一のことはただ彼を受け入れることです。

キリストは彼の言葉の中で、「私の言葉を聞く彼」と今朝説教されたものであり、あなたの心の中ではなく「私を送った彼を信じなさい」と言われました。あなたの心の中で、「私を送った彼を信じることは永遠の命を持っています」と彼が信じるとすぐに、「決して非難されることはありません。しかし、死から生へと移りました。」

71 私たちの天の父、私たちがこの交わりのメッセージの終わりに近づいているとき、私たちはあなたに感謝します。なぜなら、私たちは天の場所に座ることができるのはキリスト・イエスであり、みことばの交わりであり、聖霊はそれをとても素敵で優しく私たちにもたらします、私たちの弱い存在を強化し、彼の産物で私たちを作ります。主よ、私たちはあなたに感謝します。

今日、天のお父様、どこかで新しい生き物を作ったことがありますか？みことばが出ている間に、彼らは分離の水に来ましたか？彼らは今、血の中に流れ込んでおり、そこで何かが心に引っ張られているのを感じています。父よ、あなたは今朝新しい生き物を作りましたか？あなただけがそれをすることができます。もしあなたが持っているなら、父よ、彼らが今それを認めてくださいますように。

72 そして、私たちが頭を下げている間、誰かが神があなたに話しかけたと感じ、あなたは神の僕になりたいですか？あなたが世の中で何もする必要はありません。さて、キリストだけと私以外の誰も見てはいけません。あなたはブランナム兄弟に手を挙げているものではありません。あなたはそれをイエス・キリストに上げて、「主よ、私は本当に信じています」と言っています。神はあなたを祝福します、兄弟。他の誰かがあなたの手を上げて、「私は……」と言ってください。神はあなたを祝福します、兄弟。

他の誰かがあなたの手を挙げて、「私は今、流された血に基づいて信じています」と言います。神はあなたを祝福します、先生。神はあなたを祝福します、私の兄弟。神はあなたを祝福します、私の兄弟。神はあなたを祝福します、私の妹。神はあなたを祝福します、そこに戻って、私の兄弟。「流された血に基づいて、神様、ここに私の手があります。この時から、これから、主よ、私は今朝、私の心の中で何かが起こったと信じています。それは私に新たなスタートを与えるためです。今、私はそれを信じています。何かが過ぎ去った、

私の心の平安。』

彼はそれをしたと何と言いましたか？ 父が彼を引き寄せない限り、誰もそれをすることはできません。そして、彼を受け入れるすべてのものは、その時永遠の命を持っています。あなたが手を挙げたその瞬間、神はそれを見ます。私たちが祈る前に、別のものはありますか？ 神はあなたを祝福します、レディ。会いましょう。神はあなたを祝福します、兄弟。会いましょう。神はあなたを祝福します、兄弟。

73 何に来るの？ すると、「教会に行きたいから、新しいページをめくりたいから」？ いいえ。「今朝何かが私に話しかけたので、私は今血球に入っていると感じています。私に何かが起こった。今朝は本当に違うと信じています。今まで自分の人生を信じていました。今、私は神の息子か娘になったと信じています。そして、私はブラナム兄弟ではなく、神であるあなたに手を挙げています。私は今、あなたを私自身の個人的な救い主として受け入れています。何かが私の心の中であなたが私の救い主であると私に告げています。そして今、私はあなたを心から受け入れます。そして、私はこの日から、別の女性または別の男性になるつもりです。私はそれを知っています。」

神はあなたを祝福します、姉妹。別のものはありますか？ この小さなグループでは、数十人以上の手が上がっています。数百人以上です。「受け入れます」と言って手を挙げていただけませんか。神があなたに言わない限り、あなたはできません。なぜなら、あなたは何か間違ったことをしているからです。しかし、ほんの少し前に手を挙げたばかりの人々は、目を拭いています。

74 何が起こったのですか？ 神自身の言葉がそう言っています。「私の言葉を聞いた彼」、それはあなたでした、「そして私を送った彼を信じてください。」彼があなたに彼自身を明らかにすることを除いて、あなたはどのようにそれをすることができますか？ そして、彼がそれをし、あなたが手を挙げたので、神はこう言われます、「彼は永遠の命を持っており、決して非難されることはないでしょう。しかし、死から生へと移りました。」もう審判の席に直面することはありません。あなたはすでに裁かれています。神はあなたを裁き、あなたを引き込みました。あなたはそれを受け入れました。キリストをあなたの救い主としてとってください。そして今日、あなたは彼を信じたので、あなたは今救われています。

私たちが祈る前に、別のものはありますか？ 大丈夫です。頭を下げながら静かに。

75 さて、天のお父様、私は他に何もすることを知りません。私はこのみことばが出て行き、その定着する場所を見つけるように頼みました。今日、多くの人が手を挙げました。彼らはあなたを信じています、そして彼らは今、主よ、恵みと許しを求めています。そして、あなたが彼らに話しかけたその瞬間、彼らはそれに気づきました。彼らはあなたが彼らの心に何かを与えたことを知っていました。何か、感情的ではありませんが、そこで燃えているものでした。そして彼らはそれを受け入れました。

そしてあなたは、彼らがそれをしたので、あなたは彼らを受け入れたと言いました。だから今、彼らはあなたの言葉に基づいて救われています。主イエス・キリストの間違いのない言葉によれば、それを信じた人は皆、心を尽くして今、永遠の命を持っています。そのことをあなたに感謝します。

今、私たちはあなたが彼らに長寿を与えることを祈ります。主よ、あなたのしもべで彼らを作り、愛する者に受け入れられてください。そして、贖いの日まで、彼ら全員が今、聖霊で満たされ、神の国に封印されますように。

さて、頭を下げている間、手を挙げた人たち、ちょっと立ち上がっていただけませんか？ 手を挙げた人は誰でも、ただ立ち上がってください。神はあなたを祝福します。ただ立ち上がってください。そうです。手を挙げた人は皆、ただ立ち上がってください。しばらく立ったままにしてください。もしそうなら、すべてが手を挙げてくれます。大丈夫、ただ立ったままです。

さて、聴衆はあなたの頭を上げますか？ これらは王国のあなたの仲間の市民です。誰がキリストを受け入れたのか、周りを見回してください。彼らの手を振ってくれませんか？ 立って、誰かが彼らの隣にいて、手を伸ばして彼らの手を振って、「神はあなたを祝福します、私の兄弟」と言ってください。

あなたは今、公の証言をしているのです、友よ。イエスは言われました、「人の前で私を告白する者、私は父と聖なる天使の前で彼を告白します。」今、不滅の命があなたの中に宿っています。私たちはあなたに感謝しています。神はあなたを祝福し、あなたに長寿と神の最大の祝福を与えます。キリスト・イエスを通して、この素晴らしい交わりをいつも心に覚えてくださいますように。神は今あなたを祝福します。あなたは着席しているかもしれません。

76 さて、もし私があなたに聖書の権利を引用したなら、神がここで彼の言葉で言われたことを聞いてください。イエスがここで言われたことを聞いてください。「私の言葉を聞く者」、それは彼の心の中で「信じる」福音であり、「私を送った彼を信じる」、それは現在緊張している、今は「永遠の命」であり、死ぬことはできないのです。そしてその通り...さて、あなたはギリシャ語を知らないかもしれませんが、しかし、正しいギリシャ語の翻訳は... zoeがあり、これは「神自身の命」を意味します。ゾーイを持っています、「そして決して非難されることはありません。しかし、死から生へと移りました。」

神の言葉によると、あなたが今死んだら、あなたはあなたを見ることができる人々の存在から出て、神の存在に入ると、ここで何が起るかがここにあります。そして、あなたはそこに住んでいます。振り返ることができます。あなたは入っています...あなたはもう世の中にいません。あなたは別の世界にいます。そして、あなたは何をしますか？あなたは祭壇の下にいる魂のようで、「主よ、どれくらいの期間になるのですか？」と言っています。ほら、あなたは決して天使になることはないでしょう。あなたは天使にされていませんでした。あなたは男性も女性も作られたので、戻ってきたいと思っています。なぜなら、ここに立ち上がったときに、「それが何であるかがわかります。なぜそこで死ななければならなかったのか知っています。なぜそれが起こったのか知っています。」

あなたは決して死ぬことはありません。イエスは、「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした者を信じる者には、永遠の命がある」と言われました。あなたは死ぬことはできません。あなたは死ぬことはできません。あなたはただ...あなたは致命的な部分で死にます。しかし、あなたはここで生きています。あなたの霊はここでキリストと共にあります。

それからあなたは「主よ、どれくらいですか？」と言います。「あなたがそこにいるように作られていないからです。あなたは人間なので、そんなことはされませんでした。そして、あなたはこの体に戻って、再び完璧になることを切望しています。そして彼は、「あなたの仲間の僕たちが、殉教者たちがそこに戻ったように苦しむまで、もう少し長く」と言いました。その後、あなたは戻ってきて、降りてきます...

あなたがこの体から、宇宙の光と石油から、そしてあなたが構成しているものから出た後、あなたは第四の次元に入ります。その中から、5番目の次元に、次に6番目の次元に。それから神は7番目にいます。あなたは彼の祭壇の真下にいます。

それで、神があなたの精神を解き放つとき、それは何を拾いますか？6次元から出て、5番目の宇宙の光に入る。光から出て、石油に入る。石油から、感覚へ。そして、ここにあなたは再び地球に戻って、年をとってなくて壊れた真新しい人であり、決して病気になることはありません。あなたの髪が灰色になることはありません。しわになることはありません。もう分離することはありません。あなたは決して死ぬことはありません。空腹になることはありません。心配する必要はありません。あなたは愛する人と一緒に歩き、彼らの握手をし、食べ、飲み、家を建て、彼らに住み、主イエスの前で永遠に生きます。あなたが神の言葉を聞いたので、それはあなたが今朝得たものです。

77 簡単ではないですか？説教者はそれをとても複雑にします、あなたは来て禁止事項を取る必要があります、そしてこれらの他のすべてのもの。そうではありません。聖書は、「愚か者でさえそれを間違えないようになるまで、それはとても明白です」と言っています。ここで何かが起こると信じて、それを受け入れるだけです。それから神は彼の霊と共に、心のあの小さなくぼんだ場所、今、その魂の中に移動します。今、あなたは神の言葉を信じ、永遠の命を持っています。

さて、あなたが今、水でバプテスマを受けたことがないなら、あなたが今必要としていることは、あなたの罪の赦しのためにバプテスマを受けることです。そして、神はあなたがバプテスマを受けたその瞬間に聖霊を与えると約束されました。彼はバプテスマを受けなくても今それを行うことができます。

それから平和が心に、そしてすべてが入ります。それからあなたは始めます。そうすれば、クリスチャンが叫ぶように本当に叫ぶことができます。それから舌で話す。そして、御霊の賜物が純粋な心、真の基盤の背後に現れ始めます。そのとき何が起るか見てください。そして、それが本当の聖霊です。しかし、あなたがただ立ち上がった場合、少しの感情で、それは決してうまくいきません。あなたはすぐに戻って嫌いになるでしょう。

あなたは今、あなたの心を見て、どのように聖書を読みたいと思うでしょう。どのようにして一人になり、彼と話し、「父よ、ああ、私はただあなたを愛しています」と言いたいのでしょうか。それが交わりです。それが私たちに必要なものです。そう思いませんか、友達？神はあなたを祝福します。

78 さて、ここには祈るべき病人が何人かいます。そして、私たちは人々を連れてきて、彼らを一列に並べるためのカードや物を持っていません。だから私はあなたに尋ねるつもりです...私は彼らがちょうど今男を導き、彼をここに置くのを見ていると信じています。男がいました……今朝、二人の兄弟の間に座っていました。そして私はそこに座っていました、彼らが両方とも癒しを必要としていることを知っていました。それから後ろに戻って、私は他の誰かが入ってくるのを見ました、私は非常に病気であると知っていました。

さて、あなたが私が彼の僕であると信じているなら……さて、見てください。これは何ですか？ エデンの園では、神と彼の傑作である彼の人間との交わりは完璧でした。神はアダムを見守っていました。

さて、イエス・キリストの血が私たちを罪から清めた後、神は再び何ですか？ ここで再び交わります。ここに彼はいます。私たちは交わりを持っています。それはあなたがあなたの心の中で感じる彼です。それはあなたになくなったすべての問題を忘れさせた彼です。それが作った...それがそれをしたことです。

79 さて、あなたの罪のために死んだのと同じ主イエスがあなたの病気のために死にました。さて、あなたは、何が起ころうと、彼があなたの罪のために死んだこと、またはあなたの病気のために最初にそれを信じるまで、決して彼と一緒にどこにも行くことはできません。そうですか？

さて、贈り物というものがあります。そうです。そして神は、神の恵みによって、あなたがここに立つことができるという贈り物を与えられました、そしてそれはあなたが誰であるか、おそらくあなたがどこから来たのか、それはどうなのか、あなたの病気はどこにあるのか、そしてあなたの結果はどうなるのかを教えてください。そうかもしれません。しかし、それは何に基づいているのでしょうか？ 神の言葉だけに基づいて、見てください。主イエス・キリストへのあなたの個人的な信仰に基づいて。その通りです。

80 さて、あなたは彼の霊がこの建物の中を動き、すべての病気の人を癒すことができると信じていませんか？ 私の病気の兄弟、あなたはそれを信じますか？ あなたはそこにいると信じています、あなたが知っていること...あなたができる唯一のことは彼を受け入れるか死ぬことです。なぜなら癌はあなたを殺すからです。あなたはただ死ななければならないでしょう、ほら。そして、あなたはイエス・キリストがあなたを元気にするだろうと信じていませんか？ あなたが持っている唯一の希望があり、それは彼にあります。兄弟ですね。そして、それがあなたが元気になる唯一の方法です。今、医者あなたをあきらめました。彼らがそれについてできることは何もありません。癌は進行中であり、あなたを殺すだけです。さて、彼らができることはそれだけです。彼らは正直な人です。彼らはあなたを見てきました。

81 モーガン夫人、どこかに立っていますか？ しばらく前にあなたが来るのを見たと思いました—夫人。モーガン。ここで、向きを変えます。周りを見回してもらえますか、ちょっと頭を見て回っていただけですか？

立ち上がってください、モーガン夫人、もしよければ、ちょっと待ってください。私の最初のケースの1つである女性看護師がいます。約12、14年前にここで死にかけていました。ただスケルトンの骨の束に過ぎませんでした。そして、彼女は癌の症例であり、彼女を通してずっと癌に食い尽くされていました。今彼女を見てください。

またそんな健康になりませんか？ 何が起こったのですか？ 彼女は私あなたに信じるように頼んでいるのと全く同じことを信じていました。そして、彼女は関係なく、そうしませんでした...あなたはそれを他に何もすることができませんでした。医者が来て、「まあ、あと数時間、またはあと数日で、彼女はいなくなるでしょう」と言いました。

ここにいる他の人たち...ここに、イースターの数日前に、癌で死にかけている女性(ここでピアノを弾いている)が座っています。彼らはこのいたるところにいますね。癌で死にかけている。

さて、何が起こったのですか？ みんな来て、癒されましたか？ いいえ。彼らの何人かはここで頭の中でそれを信じていました。しかし、彼らの何人かは神を見上げました、そしてそれはここに降りてきます。私は医者が何を言っても、他の誰かが何を言ってもかまいません。そうです、見てください。ここにあるのでそうです。

信じられますか？ 私の兄弟、彼があなたを生きさせてくれると信じますか？ あなたは一生神に仕えますか？ もし彼があなたを生きさせてくれるなら、あなたは心を尽くしてそれをしますか？ そして、あなたはイエスがあなたを元気にするために死んだと信じていますか、私の兄弟？ 神はあなたの心を祝福します。私はあなたがそれを受け取ると信じています。そうです。率直に言って、私はあなたが今持っていると信じています、ほら。なぜなら、あなたが信じた瞬間、それはあなたがそれを受け取る時だからです。

82 さて、彼と一緒に何人、それは病気です、ほんの数分であなたの足元に立ちますか？ それは病気です、この兄弟と一緒に立ちますか？ ただ立ち上がってください。神はあなたを祝福します。ただ立ち上がってください。ちょっと立ったままにしてください。そうです。そうです。さて、私の兄弟、あなたは立ちますか？ 大丈夫です。

さて、私は彼らの近くに立っている健康な人が欲しいのです、あなたの手を彼らに置いてください。あなたはそれをしますか？ 誰かが振り向いて、これらの人々に手を置いてください。そうです。ああ、なんて時間だ！

偉大な医師、姉妹。

83 私はみことばに責任があります。神の言葉によって、この交わりを持つために死んだイエス・キリストが今ここにいることをお伝えします。彼はあなた方全員と一緒に今建物の中にいます。それが彼です。問題は、お互いに触れたり、私に触れたり、説教者に触れたりすることではありません。それは彼に触れていません、見てください。それは彼に触れています。あなたは今、あなたの信仰があなたの心の中であなたが元気になると感じる場所に到達したと信じていますか？ もしそうなら、「アーメン」と言ってください。さあ、頭を下げてください。

さて、私はあなた方一人一人に...私はこの祈りを繰り返すつもりです、そしてあなたはあなたの心からそれを祈ります。さて、あなたは私が言うことを言うだけです。

84 [ブラナム兄弟の後に会衆が繰り返される]: 親愛なる神様、私は今あなたのところに来て、あなたが私の体を癒し、私の魂を救うためにイエスを与えたと信じています。私は彼を私の救い主として受け入れます。そして今、私は彼を私の癒し手として受け入れています。あなたのしもべである医者は、私のためにできることはすべてやってくれましたが、彼らはただの男性であり、彼らはそれ以上行くことができないので、私を作った偉大な創造主であるあなたに私の体を持ってきます。あなたは私のすべての部分を知っています。そして、私は今、私の心の中で、私はそれを信じて立っているので、元気になると信じています。そして、流された血に基づいて、私は信じています。そして、私の心の中で何かが起こりました、そして私は私が元気になることを知っています。そして、私は今それをあなたにほめたたえます、主よ。そして、私は一生あなたに伝え、私の体と私の時間をあなたの奉仕に捧げます。主よ、私は信じています。

85 さて、頭を下げ、それを心に留めておいてください。「主よ、私は信じます」と告白し続けてください。今、どうしたの？ あなたは癒されました。聖霊、その真実、その信仰があなたの心に降りてきました。さて、私はあなたのために祈ります。そして、私がやろうとしていることは、その悪、あなたの周りにぶら下がっている疑いを祈り、捨てて、それをあなたから離れさせることです。そうすれば、あなたはここから本当に感謝して出て行くことができます。

86 さて、天のお父様、私はあなたの不採算の僕としてあなたのところに来ます。しかし、私の指紋はこのこの祭壇にあるので、私はここであなたに仕えてきた年月を覚えています。ここで私に会った天使を覚えています。私への彼の言葉を覚えています。私が尋ねて人々に信じさせたらあなたはどうするでしょう。

そして、私は今、主よ、これらの人々の周りに浮かんで、何らかの方法で彼らを信じさせないこの邪悪な疑いの力にきています。私は主イエスの血を通り抜けています。私は今朝私にレイアウトされたウェルカムマットのそばに来て、私とその小さなインドの女の子をしたように、神の白い王座の真上に立って、聖なる天使が飛んでいるのを見ながら、これらの魂のすべてを連れてきます彼らの顔に翼。そして、私は今朝、彼らをあなたに提示し、主イエス・キリストの血を彼らに適用します。

そして、私はすべての悪魔、すべての疑いの悪魔、すべての闇、すべての死の影を非難します。私はあなたを叱責します。イエス・キリストの名において、これらの人々から離れてください。彼らが戻って、元気になるためです。

全能の神よ、それを認めてください。神の御子イエスを通して、そうなるように祈り、言います。アーメン。

87 今すぐ手を挙げて、「主よ、私の癒しに感謝します」と言ってください。そこに見える。それが方法です。「主よ、私の癒しに感謝します。」オーマイ！ さて、誰かが立ち上がって握手をし、主イエス・キリストへの信仰を祝福します。終わりました。

さて、見てください、私は彼らがそこに男を抱いているのを見ました。ここで男を見ました。サー、あなたは導かれる必要はありません。あなたにはあなた自身の強さがあります。神はあなたに力を与えます。

ああ、どんな交わり、ああ、どんな喜びが神聖なのか、

永遠の腕に寄りかかる;

私は私の主との平和をととても近くで祝福しました、

永遠の腕に寄りかかって。

88 今すぐ手を伸ばして、みんなと握手してください。皆さん、右に曲がって握手してください。

すべてのアラームから安全かつ確実に;

傾いている...(振り向く。みんなが握手する。)



www.messagehub.info

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおりに、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7